婦人運動

十一月号

聯


ウテナクリーム
無脂肪の雪印
六十錢
脂肪中性淡化粧用マッサージ用の月印
七十錢
脂肪性の淡化粧用花印コールドクリーム
一圓
肌の榮養に優秀な
ウテナバニシングクリームを
氣品高き、輕決な、淡化粧に
男子の方はヒゲ剃り後のお肌へウテナ雪印クリーム
ウテナ白粉
輕決を喜ぶ一九三〇年の白粉!
肌色へ! ウテナ水白粉へ!
今年の流行は最新のウテナ肌色!
化粧水を兼ねた―美しい日ヤケ止め白粧!
—東京本郷 久保政吉商店—

婦人運動（第八巻第九號）十一月號

■一歩前進と増加運動（卷頭言）……（九）

◆無産少年を如何に教育すべきか？……（一八）

▼無産兒童の鬪爭を通じて……中田貞藏……（一九）

▼セツルメントの有つ教育的効果……牧賢一……（二三）

▼アナキーズムの立場から……新居格……（二七）

▼無産黨日曜學校を起せ……木村毅……（二八）

▼目標を無産兒童の組織に……菊川忠雄……（三一）

■全國の女教員に與ふ……平田のぶ……（一七）

◆農業問題の正しき見方……廣瀨庫太郎……（三五）

◆健康保持運動を起せ……奥むめお……（五二）



■消費組合と改良主義（消費組合講座其の二）……編輯部編……（四六）

■東洋モスリン爭議の一斷面……XYZ……（五六）

■立ち上つた農村兒童……織田顏……（四八）

◆少年運動と兒童文學……槇本楠郞……（五八）

■無產少年團と無產小學校紹介（日本・ロシア・ドイツ）……（四一）

■「不在地主」と「トルウクシブ」を觀るの記……（四一）

■（詩）私の家……村山籌子……（五一）

◆（童話）水神の花嫁……槇本楠郞譯……（六三）

■讀者欄……（三四）

■新刊紹介……（四四）

■代理部案內……（六五）

■編輯後記……（六六）

（特別讀物）

◆世界經濟恐慌は長びく……大塚金之助……（一〇）

大島勞働少年學校の生徒たち



大島爭議團に發生した勞働少年學校



日比谷公園へピクニックに出かけ、先生から惡地主の話を聞いてゐる所

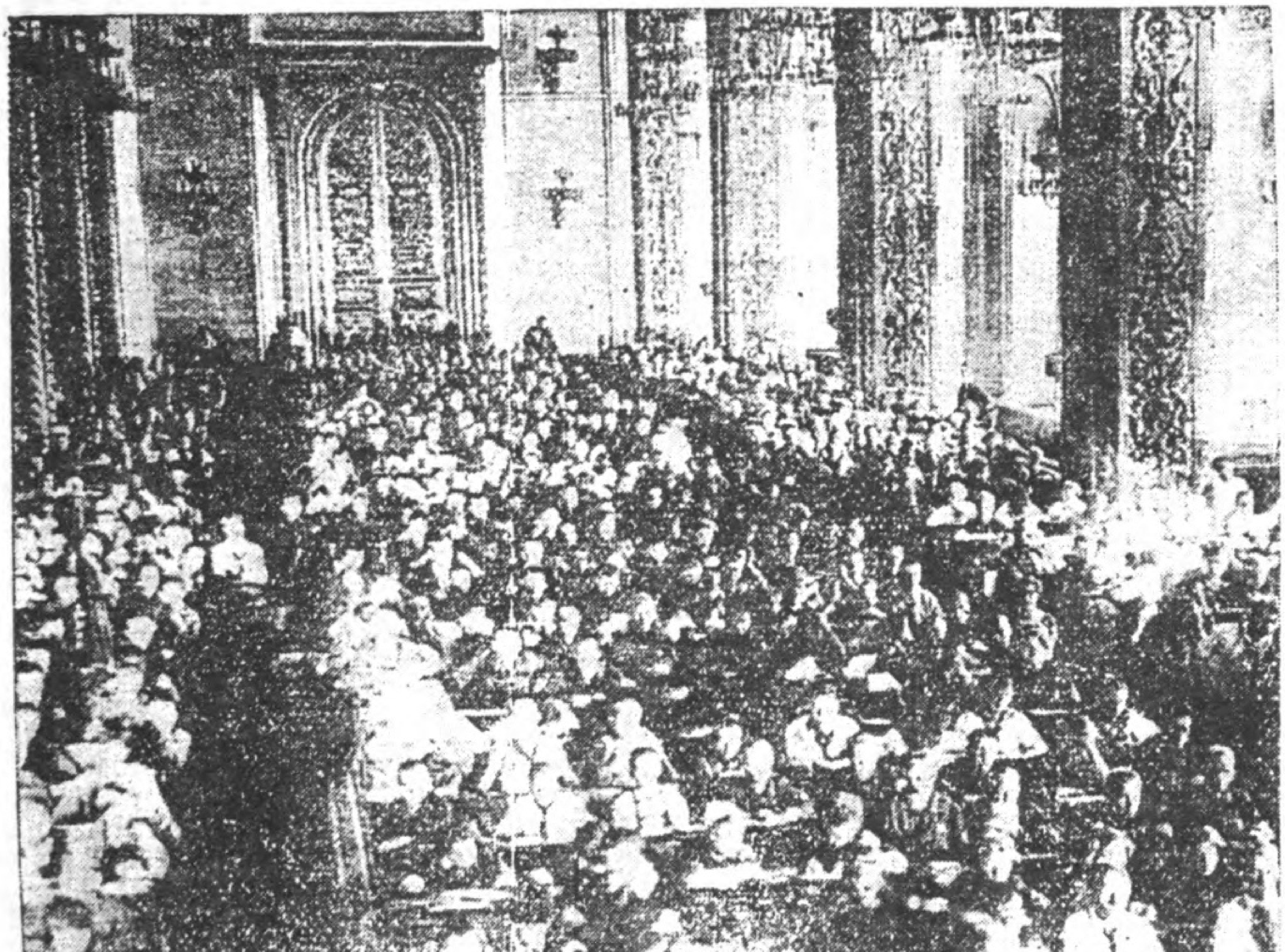


日比谷公園へのピクニックに行き、メーデー歌を唄ひつつ示威運動をしてゐる所

元氣のよいピオニールの大會



ソヴェート・ロシアのピオニール第二回大會



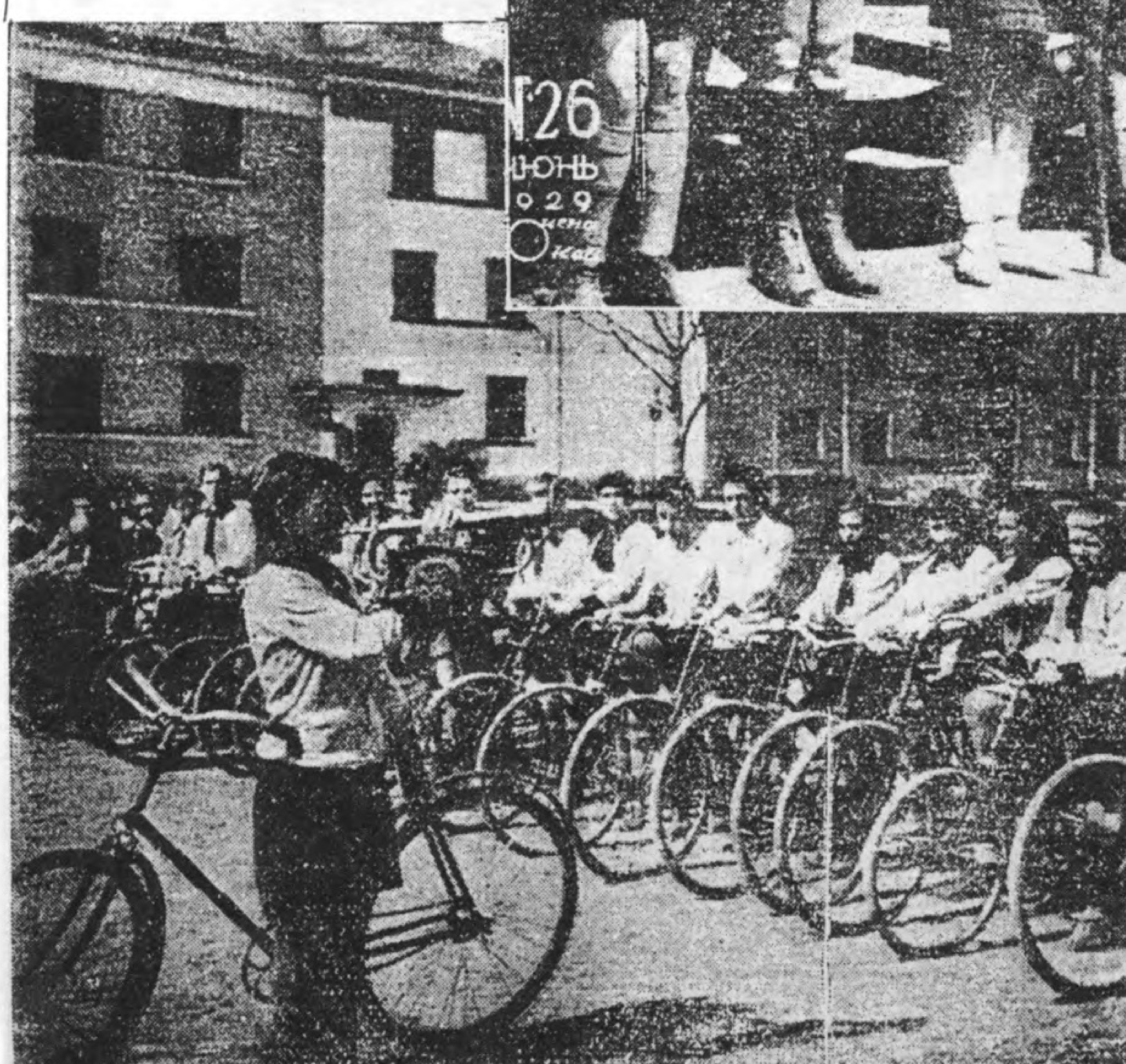
一九二九クレムリンに於ける第一回世界大會

活動しつゝあるロシアのピオニール

〔上圖〕勞働者農民の國ソヴエート・ロシアに於けるピオニール

〔下圖〕勇敢なソヴエート・ロシアに於けるピオニールの自轉車隊





勇敢に戰ひつゝある洋モスの女工さん



組合の本部前でストライキの鬪爭資金を募集しつゝある女工さん達



龜戸署より元氣で歸つた須藤君を迎へる女工さん達



××と裏切者と反動團體とに備へつゝある女工さんの警備隊



一歩前進と倍加運動

◇本誌は大正十二年發刊され、當時やうやく注目され始めた「婦人運動」上の種々なる問題に就て、專ら啓蒙的立場から、廣く世の婦人達に呼びかけてまゐりました。然しながら、最近社會の情勢は急速に進歩し、自覺したる婦人は、男性と變ることなく各種の運動の中に參加しつゝあります。

◇從つて、本誌發刊の當初に於て、本誌に要求されてゐたところの一般婦人に對する啓蒙的役割は、もはや今日の如き情勢の下では、大した意義・効果はありませぬ。今は專ら、自覺して行動者として戰ひつゝある婦人同士——從つて、やがては工場や農村で働きつゝある女性が中心的要素となるでせう——が、堅く結合協力しつゝ、如何に行動し、進むべきかを、ハツキリ見定めるために有効なものとせねばなりませぬ。

◇今日、被壓迫者としての婦人は、全く無產大衆とその立場を同じくしてゐます。卽ち、婦人の眞の要求は婦人だけの問題としては解決されずに、無產大衆の要求の通る時（無產階級解放の日）に、初めて解決されるのです。我々が「婦人だけの小ブルヂヨア的孤立」から、無產大衆の解放戰線の中に合流し、堅固な階級的組織へ結びつき、社會進化への正しい見透しの下に集團的な・協力的な活動をすることが絕對に必要です。

◇かゝる時代への理解と良心的な努力の結果、本誌の一歩前進は、本號より踏み出されました。然し、一歩前進の道は、容易ではありませぬ。良き雜誌を作り、大多數の婦人を誌友として獲得しつゝ、あらゆる困難と戰はねばならぬのです。そのためには　讀者との緊密な・有機的な結合が絕對的條件であり、同時に讀者の倍加運動・財政的基礎の確立運動を必要とします。讀者諸姉の「編輯會議への參加」と「誌友の倍加運動」を御願ひする所以であります。



世界經濟恐慌は長びく

大塚金之助

一、最惡の恐慌時はまだこれからだ

『プラウダ』は世界經濟情勢を分析して、世界經濟恐慌が絶えず深刻化し且つ尖銳化しつゝあることを確認してゐる。工業生產の指數は、すべての決定的な工業國では、下向傾向を見せてゐる。これらの諸國では、失業は絶えず增大してゐる。なほ世界農業恐慌、殊に植民地諸國の過剩生產恐慌が緩和するといふ徵候もみぢんもない。

『棉花、珈琲、茶、絹その他の植民地原料品は、相變らず下落してゐる。すべては、最惡の恐慌時はまだこれからだといふことを示してゐる。支那、印度、アルゼンチン、エヂプト、スペイン、ポーランド、その他いくつかのバルチック沿岸諸國及びバルカン諸國では、經濟危機(恐慌)は政治的危機へと延びてゐる。

『ドイツの議會選擧は、この大資本主義國に於ける經濟危機へと成長してゐる證據だ。政治的危機は、更らにまた、最も强度に經濟に反作用して、經濟危機をもつと深刻化させ尖銳化させる。

『現在の經濟危機は、資本主義の總體危機の枠のなかの一つの循環性危機だ。一般的危機の淸算だとか、その克服だとか、そんなことはお話にもならぬ。帝國主義はその最後の段階を通過しつゝあるのだ。帝國主義は死につゝある資本主義だ。すべての徵候は、まだまだ長びく苦しい恐慌期がこれからだといふことを示してゐる。

『だがこのことは國際ボルシェヴィズムの義務は、これか

らやつてくる大階級鬪爭のために十倍の精力を込めて準備することにあるといふことを意味してゐる。その任務は、資本の攻勢に抗して、都市及び農村のプロレタリアートと勞役者大衆との致命的利益を擁護するために、大衆をボルシェヴィキ的に組織し動員することにある。危機は巨大な大衆を動かした。危機によつて、この大衆の政治的成熟や彼等の××化の過程は、すばらしく加速化された、これらの大衆を組織し動員し、指導し、そして資本主義の牙城に對する鬪爭に導いて行くこと——これが世界××主義の鬪爭任務なのだ』、（ドイツの「××」三〇・九・二三に掲載）。

　これが今年九月中旬—下旬に「プラウダ」紙が世界經濟恐慌に下した判斷である。戰後資本主義の第三期——××と戰爭との第三期に於ける世界經濟恐慌の特性は簡潔に要約されてゐる。

　『最惡の恐慌時はまだこれからだ』吾々は、この限られた紙面では、計數を示してこれを證明することはできない。すでにこの七月、外電は「米國の事業界いよいよ底入れか……すでに最惡の時期は過ぎ今後好轉あるのみ……」などゝ報道してゐたものだ（「東朝」三〇・七・二三）。だがあべこべに諸關係は益々惡化し、十月九日、ニウヨーク株式は大崩落をやつて、株價は昨秋の取引所大動亂の時の最低點以下に下つた。

　第二の大きな恐慌發源地である東ヨーロッパは益々惡く、世界は大體豐作で（日本の米）農業恐慌は益々尖鋭化するだらう。今日の世界經濟危機は、資本主義の全般的危機のなかでの恐慌だ。この恐慌は長びかさるを得ない。

二、失業は絶えず增大してゐる

『失業は絶えず增大してゐる』。全世界には推算二千萬の失業者がある。イギリスの失業保險加入者のなかの失業者の數は、左のやうに增加してゐる。勞働黨政府の就任以來二倍に增加した譯だ。例年三月には、失業は季節的に減少するものだが、今年はその逆に反つて增加してゐる。これは經濟恐慌の深刻化を示してゐる。左に統計を示さう（單位千人）。

	男	女	合計
一九二九年六月……	九四二	二二一	一、一六三
一九三〇年一月……	一、一七三	三四八	一、五二一
二月……	一、二〇九	三七四	一、五八三
三月……	一、二六七	四二七	一、六九四
四月……	一、三〇一	四六〇	一、七六一
五月……	一、三五七	四九九	一、八五六
六月……	一、三九六	五一五	一、九一一

七月中旬	―	―	一、九四〇
九月中旬	―	―	二、一三九

六月までの數字はイギリスの「經濟學協會メモランダム二二號によつてゐる。それ以後は新聞電報によつてゐるが、時々間違がある。例へば七月十七日の日銀監督役發電は、六月中平均百八十四萬一千人と七萬人少く報告してゐる。

ドイツの失業は、勞働局の統計（これは官廳統計で失業の全部を包括してはゐない）によつてさへ次のやうに增加してゐる。（單位千人）

一九三〇年四月末……	二、七八七
五月末……	二、六三五
六月末……	二、六四一
七月末……	二、七六五
八月中旬……	二、八五〇

（七月まではドイツの「經濟と統計」による）

八月の二百八十萬は前年同期の二倍である。勞働組合員の失業率（總平均）は左の通りである。短時間勞働といふのは部分的失業であり、下段の括弧內は、短時間勞働を完全失業に換算したものである。

	完全失業	短時間勞働
一九二九年五月……	九、一	六、八（一、六）
一九二九年六月……	八、五	六、七（一、五）
一九三〇年五月……	一九、五	一二、〇（二、九）
一九三〇年六月……	一九、五	一二、六（三、二）

（「經濟と統計」による）

これで見ると、今年六月には、百人の組合員のうち約二十三人が、つまり五人に一人以上が、失業してゐるのだ。なほ失業に關聯することだが、ドイツの生計指數（勞働者消費品の價格の指數）は、この世界的卸賣物價の下落にも拘はらず三月の一四八から少し下つて七月には一四九に上り八月にはまた少し下るといふ有樣で、生計費は一向下落しないのだ。それだのにドイツ、ブルヂョアジーは、この官廳指數に從つて、生計費の低落のときには暮しは樂になつてゐると宣傳してゐるが、そんなことはない。詳細に他のドイツ官廳統計とつき合せて見ると、ドイツ生計指數がどんなに欺瞞的なものだかが分る（こゝではその詳しいことを省略する）。日本でも商工省は遲ればせながら生計指數の作成にとりかゝつたやうだが、あらゆるブルヂョア統計と同じで、必ず欺瞞的なものだからよく警戒しなければならぬ。

アメリカ合衆國でも、勞働者の解雇は每日報道されてゐて失業は增加する一方だ。經濟雜誌「アナリスト」の工場使用者指數は、決して失業の本當の狀態を示しはしないが、それで

も昨年七月の一〇四を最高として十二月九七・二、今年七月八六・二(暫定數)と積落してゐる(「アナリスト」一三〇・八・二二)この數字は、一九二二年以來の最低である。つまり一九二〇—二一年世界經濟恐慌の作用としての失業以來の最低なのである。「アナリスト」の記者は、今年六月中旬から七月中旬へかけての一ケ月の勞働者解雇數を百六十三萬人と大ざつぱだが推算してゐる。七月以來、例へば鋼鐵工業操業率は七月の五七・五から九月第二週の五六に落ちてをり、自動車生產も建築事業も下向だから、この失業は益々大きくなつてゐる。官邊ももはや本年前半に於けるやうに失業を隱し得なくなつた。九月一日の報道によると、アメリカ統計局長ステユアートは、アメリカ失業を七百萬乃至九百萬と放送してゐる(「××」九・七)。勞働者總數は約四千九百萬だから五人に約一人失業してゐることになる。

日本には失業調査らしいものもない。失業は百萬以上と推算されてゐる。フランスの失業も增加し始めてゐる。イタリアにも大衆失業がある。かうして強力な資本主義國はすべて固定的な大衆失業を持つてゐるのだ。階級鬪爭は益々尖銳化してゐる。ファシズムのイタリアにさへも、(國內では政府が記事を禁止してゐる)外國新聞の報道によると、饑餓者の示×や騷×が次々と起つてゐる。他方、サヴエート同盟に於ける失業は、一九二九年六月の百八十萬から、一九三〇年六月の九十萬に減じ、こゝ一二年の間に失業は皆無になる勢ひである。

三、經濟的危機は政治的危機へと成長する

『ドイツの議會選擧は、この大資本主義國に於ける經濟危機が政治的危機へと成長してゐる證據だ』資本家とその政府とは、國內及び外國の階級鬪爭の尖銳化(支那、ドイツ等々)やサヴエート同盟の經濟强化についての眞相を大衆の目から隱さうとしてゐる。資本の淫賣婦であり輿論製造工場である新聞やラヂイオも、同樣に民衆の欺瞞に浮身をやつしてゐる。日本の諸新聞は、サヴエート支那の建設の報道をサボり、ブダペスト(ハンガリーの首府)で九月に×××が行はれたことや、最近の南米諸××の眞相(英米資本に操られてゐる)やワルシャウの戒嚴令などは、一言も報道しなかつた。ドイツ總選擧についても同樣新聞報道はサボつてゐる。

ドイツ總選擧は、資本主義の一般的危機のなかの銳い經濟恐慌のまつたゞなかで行はれた。全世界のプロレタリアート

の希望は、大衆黨としてのドイツ××黨に向けられた。支那サヴエート第一回會議は激勵文を送つた。××黨は多くは男女勞働者をその候補者名簿(第四表)に掲げ、社會民主黨は多くは文筆業者と勞働組合官僚とを候補者名簿に掲げた。野心滿々としてドイツのムッソリーニを氣取つてゐるヒットラーは、ドイツのファシスト政黨であるナチ政黨(國民社會主義黨を率ゐて、「ヤング案を棄てろ」、「國民自由(ほほう!)をよこせ」等々のスローガンを押し立てゝ、内密には資本と手を握りつゝ、經濟恐慌の壓迫とヤング案の壓迫との下で絶望的になつてゐる大衆を僞瞞するために狂奔した。××黨は、國内資本の搾取に苦しむばかりでなく、ヤング賠償案によつて外國資本家(日本も一口乘つてゐる)の×取にも委ねられてゐるドイツ勞役者大衆の利益のために、ナチ政黨を初めあらゆるブルジョア諸政黨と社會民主黨(ヤング案に賛成だ)とに向つて强力な鬪爭を展開した。赤色スポート團や赤色藝術家もこの鬪爭に參加した。××黨は、サヴエートへの途が吾々を助ける唯一の途であること、恐慌からの血路はサヴエート・ドイツのみであることを、數百萬のパンフレットをもつて宣傳した。サヴエート・ドイツの建設」「プロレタリア××」「ヤング・ドイツを倒せ」これが××黨のスローガンであつた。恐慌に苦しめられ、社會民主黨の僞瞞にあきれ、サヴエート同盟の强化を目の當りに見てゐる勞役者大衆の支持は强かつたブルヂョア諸黨は、死者狂ひになつた。遂に九月十三日、ナチ政黨の暴漢は警官と一緒になつて、リープクネヒト會館にある××黨本部に向つてピストルを亂射し、勞働者を死傷させた。その他全國各地で、勞働者は殺された。黨の選擧パンフレットは發禁となり、集會の權利は奪はれた。赤色救援會は直ちに救援のために動いた。かゝる彈壓にも拘はらず、九月十四日總選擧の全國の結果は次の通りだつた。

	一九三〇年九月得票數	議席	一九二八年得票數	議席	議席増減
社會民主黨	八、五七二(千)	一四三	九、一五〇(千)	一五〇	一〇(減)
ナチ政黨	六、四〇一	一〇七	八〇九	一二	九五(増)
共産黨	四、五八七	七六	三、二六五	五四	二二(増)

(この外に十二の政黨がある)

左右兩政黨は强化した。その後中央黨その他のブルヂョア諸政黨はすでにナチとの提携の意をもらしてゐる。政治的危機は急速に成熟してゐる。

大ベルリン二十區では××黨は第一黨を占めた。

	一九三〇年	一九二九年	一九二八年
共産黨……	七三八(千)	五六五(千)	六一一(千)
社會民主黨…	七三七	六五一	八一六
國權黨……	三五一	四〇四	四四〇
ナチ政黨……	三四九	一三二	三九

××黨はベルリンの最强政黨となつた。この割合で假りに市會議員數を計算すると次のやうになる。

共産黨……	六二議席	今までは五四
社會民主黨…	六二	六四
ナチ政黨……	三三	一三
國權黨……	三〇	四二
その他……	三三	四六

總選擧の結果が報道されると、世界の諸取引所ではドイツ公債の相場が下つた。左黨の進出と政治的危機の切迫とは、世界資本主義を驚かしたのである。

この選擧に當つて、ブルヂョア政黨とブルヂョア學者とは恐慌が自分達に不利なのを知つて、景氣診斷をごまかして所謂「選擧景氣」といふものを宣傳した。ディートリッヒ（財政大臣）、ブリューニング（首相）、ルーター（ライヒスバンク總裁）などは、多くの選擧演說で景氣について樂觀主義の態度をとつて、「原料暴落はドイツの德だ」と說いて廻つた。原料暴落による農民の破滅や國內市場の消化力の縮小や世界市場の消化力の萎縮をかうしてごまかさうとしたのだ。更らに激しいのはドイツ景氣研究所だ。同研究所は元より資本の御用を勤めてゐる。世界の主要資本主義國には、景氣研究所が澤山あつて、こゝに巨額の金が投ぜられ、こゝに一流の學者が集まつてゐる。だがすべての研究所はブルヂョア俗流經濟學を基礎としてゐるのだから、資本主義の總過程を理論的に把握し得ないし、從つて景氣變動の測定なんかできる譯がない。

ドイツ景氣研究所が數年來、でたらめの景氣診斷をやつてきたことは、ヴァルガ「世界經濟年報」一九三〇年第二期（叢文閣）が暴露してゐる。右研究所長ワーゲマン博士は、ブルヂョアジーの御注文通りに、景氣診斷をゆがめて選擧煽動に使つた。「物價下落に强制されて商業も工業も、先づもつて在荷を吐き出さなければならなかつた。この吐き出しが少しの間續けば、必然的に、需要を滿すための注文が多くなり、從つて消費品工業の操業狀態はよくなるといふのである（「景氣研究所週報」二〇號、八月二十日の大意、「××」九・一〇）。

だが一體誰が消費するのか？吐き出された在荷は誰が買ふのか？ワーゲマン博士は、この消費の減退が大規模の賃銀切下

げや大失業から來てゐることを全く隱してゐる。賃下げ(時には四割!)や解雇は今でもどしどし行はれてゐるのだから、消費力の回復、從つて消費品工業の活氣などはあり得ない。右の週報はブルヂョアジーの選擧僞瞞の一つなのだ。日本でもそろそろ政治季節が近づいたので、一方では官邊はすでに樂觀的聲明を發表し始めてをり、他方では「不逞の徒」(=國內經濟恐慌の眞相を傳へる者)を取締るべきことを命じてゐる。十月十日の地方長官會議における安達內相の訓示)。政治的危機の成長は東ヨーロッパに於て特に著しい(ポーランドの戒嚴令、オーストリアの政變、ハンガリーの×動等々)。資本主義はやがて多くの國民的危機にぶつからなければならない。

◇何を讀むべきか?(その一)◇

◇レーニン 帝國主義論

資本主義最後の段階としての帝國主義を、レーニンは實に明確に解剖、批判して、プロレタリアートに社會進化の必然性を明示し、且つ決死的×起の決意を與へた名著。(定價四十錢、送料二錢。岩波書店發行)

◇青年コミンテルン 無產者政治教程(1)(資本主義社會の解剖)

青年コミンテルンが同盟の研究會の教程として發行したもの。簡明・適切な資本主義社會の解剖・批判は、初步の人々にも極めて解り易く、資本主義との戰ひの意義と資本主義の「ガン」を知ることができるであらう。(定價五十錢・送料四錢。叢文閣發行)

◇ラピドス ヴイテイヤノフ マルクス主義經濟學

有史以來最初の決定的サヴエートを建設確立し、××社會への巨步を進めつつあるロシアの革命的經濟學者の共同勞作マルクス主義經濟を體系的に、且つ解り易く細敍したもの。入門書として最も秀ぐれたる書。(定價一圓・送料十二錢。希望閣發行)

◇ヴアルガ 世界經濟年報(一—九)

正確で、科學的である點からブルヂョア經營者までに讀まれてゐる年報の邦譯。所謂る「第三期」の問題を正確に把握する上に有益な讀物の一つ。(定價、一と七と九が九十錢・二三、四と八が一圓・五が八十錢。送料各八錢。叢文閣)

◇スターリンその他 社會主義建設の勝利的躍進

ロシア共產黨第十六回大會に於ける報告(送料共五十四錢)



全國の女教員に與ふ

平田のぶ

姙産婦の休養、遺族扶助法、部分勤務、機會均等、地位待遇の平等等々女教員としての多くの要求は、單に女教員と稱する特殊なる女性の問題丈でなく、凡ての職業を持つ女性共通の問題である。從つて全職業婦人が大同團結することによつて解決しなければならぬ事を私は長い間叫んで來た。然し、更に女教員は、婦人としての要求の外に、教育者としての要求を持つ。即ちブルジョアの御用教育より完全に我々プロレタリヤの教育をとりもどし、新興プロレタリヤ教育の建設をすること、我々の生活權を確立すること等凡てこれ等は、全教育者の問題であり從つて、全教育者の大同團結により、組織的活動によつて勝ち得る外道はない。然も我々が、ハツキリ自分の階級的立場即ち、教育者も又一つの勞働者であるとの認識に立つて團結行動する時に於てのみ、完全に凡ての女教員問題も解決されるのである。

ブルジョアの教養を受け、その催眠術にかゝつた今の多くの教育者は、決してその階級的立場を正視することを好まない。「高尚にして、尊貴なる天職」の美名に果敢なくもそのブルジョア的誇りを満足させられてゐる。だが、もういゝ加減迷夢から醒めていゝ時である。教育費削減、俸給の不拂、天引にあたつて狼狽した自分自身を省みるがいゝ。結局は食ふ爲めの職業である。その職業を好み、その職業に心を打ち込み天職と感ずることは、その心境の問題であつて、食ふことは自づから別問題である。

ブルジョア的誇りを持つ迷蒙の人達にとつて、教育者も亦勞働者であると斷定することは、その怒を買ふに充分であらう。だが、工場勞働者は一資本家に雇はれて生産勞働に從事し、教員は市町村即ち國家といふ雇主を持ち、イデオロギー生産の外に、教育そのものゝイデオロギー更改の役割を受持つとはいへ、學校といふ工場に於て、教育技術を賣りものに器械よりももつと始末の悪い法規や校則に縛られ、校長、視學の監視の下に働く勞働者に過ぎぬ。從つて器械の補助機關として働く工場勞働者とその組織形態は完全に同一である。

もう、我等はいゝ加減、ブルジョアの幇間的役目に反逆していゝ筈だ。そして階級的自覺の上に立つて、全國教員の更に全世界教員の團結により、組織を通じて「我等の教育」をとりもどすべきだ。我等の生活權確立に突進すべきである。

無産少年を如何に教育すべき？

女性と教育！

新興の勞動者農民の國ソヴエート、ロシアに於ける兒童教育、民衆教化に献身しつゝある女性の力はいふ迄もな、、古くブルジョア諸國に在つても「女性は良い教育者の素質を持つもの」とされてきました。今本誌の革新號發刊に際し「無産少年(少女)を如何に教育すべきか？」との問題を提出し、これへの答へを、政治的觀點に於て相異りつゝある人々から集めましたのは、多少の理由があるのであります。

今日のごとく、最も鮮明なる形に於て、鋭き階級對立をあらゆる分野に見る時には、その二つの階級を土台に「二つの教育論」が現はれるのは、極めて當然のことであります。資本家、地主の良き使用人に育てあげるための各々の幼稚園、小學校、日曜學校等々が、十年一日のごとく忠實に行ひつゝある兒童のブルジョア教化運動――及び、新興の無産階級の解放戰の激化に伴ふて、組織され行はれ始めたところの兒童のプロレタリア教化運動。

前者が、新興無産階級――從つて無産少年にとつて「資本家、地主に都合のよい眠り薬」であり、且つ「最も有害な瓦斯」に過ぎぬことは、理の當然であります。(今日のごとき劇しい、生々しい、明瞭な階級對立の社會にあつて「公平で、いづれの階級にも穩健、有効な教育！」――そんなものを夢にでも見る者があるとしたら、呪はれてあれ！)

問題は、反資本主義の旗の下に戰ひつゝある人々の中の「正しき教育に就ての意見」を理解して、進みつゝある解放戰線に、より効果的な教育を、直ちに「現實の問題」とし、取上げ、實行に移すことが大切であります。

無産少年(少女)の教育は如何になさるべきか？　この道は本質的に相反する幾つかの道に分るべきものでせうか？

申す迄もなく、以下に掲げた五氏の意見は「反資本主義の立場」に於ては同一線上にあり而もその本質に於てはかなりの相異が認められます。(從つて、こゝに掲げる五氏の意見を正しく理解するためには、各々の人が據つてゐるところの「思想體系」を正しく理解することが大切だと思ひます。そのために、更に一歩研究を進められることを希望します。)

以下、參考までに、執筆者の方々の簡單な紹介をいたしませう。中田貞藏氏は、階級的左翼を支持しつゝプロレタリア教育の研究建設を目的とする新興教育研究所の一員、牧賢一氏は嘗つて中央社會事業協會に居つた方で現に西窓學園でセツルメント事業に從事して居られます。新居格氏はアナキーズムの立場から、無産階級の政治運動を否定し、拒否してをられる評論家、木村氏は中間派といはれてゐる全國大衆黨の教育部長で、文藝評論家として知られてをり、今春歸朝なされた方、嶺川忠雄氏は全國大衆黨並にそれを支持する勞働組合の若き指導者の一人であります。

無産兒童の闘爭を通じて

中田貞藏

一

我々が兒童を教育するといふ場合、我々はプロレタリア、貧農兒童のことを云つてゐるのである。兒童一般とか、押しなべて子供達とかいふことは、人格とか、人間とか、女性一般とかいふことがさうであるのと等しく、現在の階級對立の社會に於て本來問題となり得ない。ブルジョア教育學の習慣から、或は兒童一般も考へられると云つてみたところで、いざ兒童を目の前に据へてみれば、そこにゐるのは、親の營む×取の果實に養はれてゐる、綺麗な、幸福さうな有産階級の兒童か、親と共々×取の淵に沈められてゐる、汚い、榮養不良の無産階級の兒童かの孰れかである。双方の親達の利害が如何なる點でゝも、決して一致する事が有りえないやうに此の双方の子供達の利害もあらゆる事毎に一致點を見出す事が出來ない。階級對立――×取する階級と×取される階級との對立は、兒童の世界に於て一層悲慘な姿を呈して現はされる。

我々は此の現實的に異る二種類の兒童達をならべて、同時に双方の幸福を計る手品はつかへない。すなはち我々は勞働者貧農の立場に立つての教育を施すか、資本家地主の立場に立つての教育を施すかの孰れか一方の立場に立つことを許されるだけで、超階級的な、双方の調和を計る立場といふものは幻想の世界にしか有りえない。このことを教育者自身がそれと意識するか否かは、何等事態に拘はりのない問題である。

我々が兒童教育の對象を明確にプロレタリア貧農兒童と規定し、一切の教育を嚴密に資本家地主に對抗する立場から押し進めるのは、勞働者貧農の革命的鬪爭の勝利に依る一般被壓迫大衆の解放を通じてのみ、人に依る人の×取の廢絶は人類の新しい歷史的時代として戰ひ取られ、將來のその社會に於てのみ人類一般の幸福、從つて兒童一般の幸福も初めて現

實的な問題になり得るであらうとの根本的な見地に基くのである。それ故、我々の云ふプロレタリア教育とは、勞働者貧農の鬪爭の中にのみ成長し「勞働階級のための不屈の鬪士であり、又××主義社會の堪能な建設者をつくる教育である。」△

△ソヴエート、ロシアの教育人民委員部國家學者會に依るプロレタリア教育の目的に關しての規定の中の言葉。プロレタリア教育の基本的な諸問題の究明については、雜誌『プロレタリア科學』十月號の山下德治氏の「プロレタリア教育の本質」を推せんする。

二

我々の國の場合のプロレタリア兒童教育が、徹頭徹尾勞働者貧農が時々刻々に展開する戰線に沿うて、勞働組合、農民組合の鬪爭に參加する、小さい、元氣な援助隊としてのピオニールの組織に、その集中點を置かなければならないのは明かなことである。

豐里、落合、土睦、靑砥等々全國各地のピオニール達がビラ張り、レポーターや、立禁の立札引つこ拔きの行動隊や、行商隊やを引き受けての活躍は、ピオニール運動に依る兒童の訓練の成果と、實際にプロレタリア、貧農兒童が內に持つてゐる鬪爭力とを示してゐる。親、兄姉達が弟達や妹達の勇敢な行動を目前に見てどんなに激勵されて頑張る氣持ちになるかは、察しがつくところではないか。

ピオニールは又、勞働組合、農民組合の青年部や、教育勞働者組合の指導の下に、學校に於ける彼等自身の要求を戰ひ取らなければならない。小學校教員の離反と共に、いとけない兒童までもの離反に依る反動教育の崩壞は、支配階級にとつて又一つの强襲だ。プロレタリア、貧農兒童が有り難い義務教育の小學校に對して叩きつけるべき、又實際小さい心の中で叩きつけてゐる要求はたくさんある。最も一般的と思はれる中の彼等の二、三の要求を揭げてみやう。△

△ピオニールの本質的な諸點については、簡單なものとして、雜誌『新興教育』十月號の秋田雨雀氏の「ピオニールの旗の下に」を推せんする。

三

先づ授業料の廢止だ。今日、農村に於ては尋常科の授業料は殆んど取られてゐないのに對し、都市に於ける勞働者の兒童は月二十錢からの授業料をふんだくられる。有り難い學問を敎はるために、この不景氣に——二十錢もあれば米を買ふのだ。——授業料と來たのだからたまらない。親父や兒貴から金を取つてくることは斷じて出來ないから、授業料は全廢して貰はなければならない。

次ぎには、學用品及び雨具、下駄、上履等の通學用品と、辨當は學校からよこさせなければならぬ。俺達兒童を保護することが學校のつとめだといふことは、校長先生が親父や兄貴に入學式の日に約束したことではあるし、御國のお庫の中には、元々俺達みんなの親父達が出したお金が山とあるのだから、それで買つてよこして貰はねばならぬ。

ついでに、遠足や修學旅行の費用は、一切出して貰ふとしやう。行きたくても行かれない俺達が一日ぼんやり殘されてゐるのは、どんなにしやくなことだか。遠足や修學旅行が兒童の教育上、有效必要なものであるなら、是非俺達も一緒に行かぬわけにはいかない。俺達が金が無くて行かれぬので困つてゐるのに、金持の子供達だけを連れて行くことは絶對不公平な仕打ちだ。

學習設備の不完全さは、農村の小學校に於てはおはなしにならない。都會の學校では、綺麗な建物に立派な道具でみんなやつてゐるといふのだから、俺達の學校にもせめて理科の實驗の道具や標本ぐらゐは備へつけろ。自然科學の學習をしつかりやらせろ。

それから保健、娯樂設備だ。傳染病の豫防注射の時だけしかやつて來ない、校醫とは名ばかりの藪醫者で俺達をごまかすな。しつかりした醫者を毎日學校へ來させて、無料で病氣や怪我の手當をさせろ。怪我人や、急病人が出る度ごとに慌てないで、藥品も一通りはきちんと備へつけろ。休養室をつくれ。教場内の埃がひどいから、何とか空氣を淸潔にする設備をしろ。寒い時分には火鉢かストーヴを教場におけ。

自分の教へ方が惡いから覺えられないのを立たせたり、自分の氣分の惡いのまで兒童に押しつけてなぐつたりする横暴な先生に反對だ。一切の體罰に反對だ。さういふ先生は、資本家や地主の手先であるのに決つてゐるのだから、學校から追ひ出してしまへ。

主席の先生と校長先生とはほんとのことを教へてくれる、いゝ先生をいつもいぢめるし、校長先生などはろくに仕事もしないくせに、たくさんの月給を貰つてゐるのだ。市町村稅といつて、みんなの親父達から取り上げたお金の中から、それだけたくさん貰つて、あゝして贅澤をしてゐるのだ。もしよい先生を追ひ出すやうなことをたくらんだら、反對に校長を追ひ出してしまふことだ。

橫暴な校長先生や惡い先生に學校を出てくれと要求しても

きかなかつたら、ストライキやサボタージュ、デモンストレーションで戰ふほかはない。兒童のストライキ權の獲得、出缺席の自由の獲得にまで鬪ひを押し進めて行く決心でゐなければならない。

次ぎに掲げるのは、雜誌「農民鬪爭」の最近號に出てゐた宮城縣豊里少年團のニュースである。

ワカラズ教師を追出せ！

益々大きくなる トヨサト少年團

布施おんつあんに、日本一の豆つぶ少年だんだと云はれたとよさと少年團では「このふけいきにがく用品をがく校でかつてよこせ」とびらでまいたので少年だんに入つてゐるものはたい學だと云はれた。

「そんなことをぬかす先生を村から追ひ出せ！」と支部のおおえんで六十人のデモで學校におしかけて校長と先生をぺこぺこにあやまらせた。

大いばり引き上げてきたところをけいさつ犬がたくさんやつてきて、吉本さんと篠原おんあんをけんそくしていきやがつた。

二人をかへせ！　スパイのばかやろー

がんばれだまされるな！

とおつかけたがみんな田ぼに出たあとだつたのでとうとうつれてゆかれてしまつた。

今に見ろ！大きくなつて、きつとかたきをとつてやるぞ！

と、少年團を益々大きくするために、げんきでがんばつてゐる。

「職業婦人の家」の募金について

「家」の募金を大分長い間怠つてゐたことを何とお詫びしてよいでせうか？　私の怠慢にも拘らず變りない心でポツ〳〵と貯めてはお送り下さつてゐた方々のお心を私は、自責と涙ぐましい感激に慄へて、頂いて來てゐました。

私が今、新しい元氣をもり返して第二期募金に入つたことをどうぞお喜び下さい。今年ちうには必ず成果を收める意氣込みでかゝつてゐます。

東京に於ける職業婦人諸孃のために、よい「家」が建ちます樣尙一層お助力下さいませ。（奥むめお謹んで記す）

セツルメントの有つ教育的役割

――主として無産少年に對するそれについて――

牧　賢　一

一

巣鴨と小石川の境界にあつて、其の兩者の所謂細民地區に働きかけてゐる西窓學園セツルメントの兒童復習會では、最近其の勉强の餘暇に面白いテストをして見た。それは近頃新聞の社會面を賑はしたところの、

（一）大島製鋼爭議のプロレタリア小學校

（二）エトロフ丸事件

此の二問題について新聞記事を讀んで聞かせた後で直ぐに尋常六年以上の生徒十名に其の感想と批評とを在り合せの紙片に書かせたのである。勿論敎師は豫め何の批判も暗示も與へはしなかつたのであるが、其の書かれた回答は次の如き興味あるものを示した。即ち、

（一）について、

1、回答なきもの四名。

2、單に「可哀想な子供達だ」、「いゝことだと思ふ」と云ふもの二名。

3、「自分の小遣を儉約して援助したい」と云ふもの一名

4、「其處の子供の中から偉い人が出ることを希望する」もの一名。

5、「學校を建てることは大變でも其の生徒は幸せだ」と云ふもの一名。

6、「プロレタリア小學校を斷然設けなくてはならぬ」と書いたもの一名。

（二）について

1、單に「可哀想だ、氣の毒だ」とするもの一名。

2、船長や上役を「死刑にしろ」、「同じ様なひどい目に會はせてやれ」と云ふもの二名。

3、「上役の人はひどいことをする」、「船長が惡い奴だ」「會社が惡い」と答へたもの三名。

4、船に「刑事を入れて置け」、「警視廳がよく取締れ」と云ふもの二名。

5、「會社が餘り儲けやうとするからだ」と云つた意味の批判をしたもの二名。

今、之に對して敎育學的な乃至はイデオロギッシエな批評或は説明をすることは、筆者に與へられた課題の埒外である唯讀者は、右の回答其のものから、此のセツルメントに集つてゐる子供達が、其の生活に對して如何なる氣持を持つてゐるか、物事に對して如何なる考へ方をしてゐるか、そしてそれが凡そ今日の小學校で敎へられる考へ方と如何に色を異にしてゐるか、と云つたやうなこと、或る傾向的なものを其處に感じ得るであらう。

無産階級の集る地區の溫きホームであり、良き友人であるセツルメントの有つ敎育的役割、殊に少年に對するそれを論ずるに當つて、先づ此の小さな事實を紹介してプロローグとする。

二

セツルメントは貧しい人達の集團する地區の中に存在して其處の知識的、文化的生活を開發し其のレベルを向上せしむべき目的を持つセンターである。それは社會事業である限りに於いてともかくも上層階級より下層階級への働きかけであるが、其の敎育的目的を特質とする限りに於いては、知識階級即ちインテリゲンチアの仕事だと云ふことになる。而してセツルメントがインテリの仕事だと云ふところに、其處に於ける敎育それ自身の説明が盡されてゐるであらう。

セツルメントは其の本來の面目上、主として未組織勞働者ルンペン・プロ、小市民を其の對象とする。そして、それが「貧」を其の活動の契機に見出す以上、それは又必然、彼等の社會生活・經濟生活の本據にまで立入つて行かねばならぬ。其處で此の畸形的なる敎育事業は、社會運動の領域とタッチする事になるのだが、こゝで危ふくセツルメントは其の社會事業的性質即ち寄附經濟の本質によつて制約される、之が今日のセツルメントの正體であり、其の敎育活動の持つ色合な

のだ（所謂セツルメントと稱ばれる官公營隣保事業が此處に論ずる外のものであることは云ふまでもない）。

もつとはつきり云つて了へば、例へ如何に自由主義の立場に立つとは云へ、セツルメントが今日の如き經濟的基礎に根さす限りに於いて、其處に於ける教育は些かも階級的・鬪爭的ではあり得ないのだ。然しながら、日夜ドン底社會の生活に觸れるインテリは、彼が良心と叡智とを持ち、そして宗教的阿片の中毒から免れてさへゐるならば、必ずや多少なりとも所謂左傾しないではゐられないであらう。此處にセツルメントに於ける教育の「傾向」が發生する。

斯くの如き教育が社會科學的批判に堪え得るか否かは別問題である。が然し、今日社會の凡ゆる分野に於いて行はれる一切の教育が、唯之今日の支配權力を握る資本家階級の利益のために、驚くべき巧妙さと周到さとを以つて爲されてゐることは嚴然たる事實だ。一切の倫理道德もとより然り、歴史教授に於いては最も露骨に此の陰謀が强要されて居る。即ち今日の教育が、正しき知識と批判能力とを殊更に歪曲し阻碍して居る此の事實に對して、最も消極的なる抗議と訂正とを試みること、之がセツルメントに於いて期待し得る教育の効果である。

セツルメントは、其處に於ける一切の事業――託兒事業、兒童復習會、夜學校、人事法律の相談事業、診療事業、巡回看護及助産事業、産兒制限指導、消費組合、講演會、娛樂會、クラブ、共濟事業、救濟事業等々を通じて、此の消極的なる教育即ち、凡ゆる事物を在るがまゝの姿に於て正しく知らせ正しく判斷する能力を養成すること、其の接觸する總ての人の心に、人間の生きる事に對する怒りと希望とを點火して行くこと、之がセツルメントに於ける教育的活動に許されたる力だ。

若しセツルメントが、其の寄附經濟の土臺を揚棄して、其の對象を打つて一丸とする協同組合組織にまで飛躍し得るならば――斯くてこそ始めて眞實なのだが――其の時は又一切が全く變る。

三

斯くの如き教育――正しく行はれるならば、それこそ眞の教育であるところの此の教育信條の實現は即ち社會教育である。生活經驗の擴大――社會それ自體への浸透――換言すれば、社會を構成する全大衆の生活のための教育こそ眞實なる

ものだ。

即ちセツルメントは其の少年少女に對して彼等自身のための、而して彼等が將來生くべき環境に彼等の生活を適應させるための教育を行ふ。それは又同時に、現在に於ける環境改善の準備、人類文化の正當なる享受、生活理想の高揚と擴大とを目的とする。それは又必然、彼等の自由と人格とを尊重した自治的社會的生活の訓練を其の教育實踐の戰線にまで進出せしむるであらう。斯くの如き教育目的を果すためにセツルメントの兒童部會は、總てを兒童の自治に待つ活動を起し、それは發展して、大島隣保館に行はれるが如き兒童實踐都市又兒童消費組合、兒童銀行、凡ゆるクラブ、更にピオニールの如き組織にまで成長する。そこで彼等は其の社會的、協同的生活の訓練を受け、凡ゆる新しき實踐的知識を獲得することが出來る。此處で子供達は、彼等が決して奴隷ではないこと、獨立の人格と權威を持つ自由なる市民であること、又自已の尊嚴を自覺する。而して更に、此處での教師と生徒との間に於ける兄弟の如き親密なる關係は、舊來の封建的資本主義的道德を自然に解消し清算するであらう。

マルクスは云ふ、人類の進むべき唯一の目標は、人間の凡ゆる能力を最大限度にまで發達せしむることにあると。科學と藝術の正しき意味に於ける獲得こそプロレタリアの勝利であり、又人類進化の崇高なる目的でもある。レニン夫人クルプスカヤーは云ふ「新しき學校の方針とするところは、若き人々を教育し、社會生活と集團的勞働に適する人々を養成し以つて勞働者全體の偉大なる歷史的使命に貢獻せんとするにある。」

議論が抽象的になり過ぎた。ともかくも其の實踐の可能性の限界は別として　セツルメントの有つ教育的役割と希望とが、斯る方向に於いて望まれることは確かだ。（然し、それが又、全然反動的役割をも果し得ることは斷はるまでもあるまい。）

正しき教育は、教師の作つた或る型の完成に兒童を强要することを決して目的としない。それは生徒の要求に應ずることを目的とし、其の要求を正しく自覺せしめ成長せしむることを目的とする。それは最も眞實なる意味に於いての開發教育である。セツルメントの教育は其處にこそ重點を置く。

眞理を知らしめ、正しき批判能力を作り、正當なる要求を自覺せしむること、そこまでがセツルメントの教育に與へら

れたる、而して果し得る役割であり任務である。最後にウクライナ學術研究所理事長ジャン・リアツポーの言を引かう。

「ピオニールは新しき時代を創るものです。彼等は社會に興味を持ち、それを知り、又理解して居ます。彼等はよく働きます。其の多數は一日二三時間は何等かの有益な仕事で費します。之はピオニールとしての訓練の一部です。彼等は組織を持ち、團體的活動で訓練を受けます。彼等は偉大なる勞働者の時代を作るでせう。」(ニアリング「勞農ロシヤの教育制度」松山止才譯本・叢文閣版一六七頁)

アナキーズムの立場から

新居格

無産少年少女を如何に教育すべきか。と云ふことに對して考へる前に、先づこれまで、如何に間違つた少年少女教育であるかを批判しなければならぬ。第一、教程、課目が、第二に教科書中に取扱はれてゐることが。

わたしは子供の身體のために體操のあるのはいゝと思ふがあれは號令だけでなく、ラヂオ體操のやうに音樂のリズムに合はせるやうにしたいと思つてゐる。その體育的なものに最も重きを置き、數學無論必要、讀方は讀本の内容をすつかり變へること。修身は不要、身體のいゝ子供なら快活だから自然に任せてもわるい事はしない。歷史も不要、これまでの歷史は嘘でかためてある。立志傳とかエラクなれ。とか云ふ意味のことを子供の頭に沁み込ませてはいけない。戰爭のことを話してはならない。勞働をする人間が一番すぐれたものだと云ふことをよく頭にしみ込ませなくちやいけない。

子供の生活する環境の植物、動物、雜草、昆虫に至るまで始終觸目觸感しつゝあるものについて、正確な科學的知識を與へてやらなければならない。子供の周圍の事實を、事實に就いてしつかり敎へてやつて、それと子供の頭腦と實生活と

の間に緊密な關連をもたせる教育がのぞましい。

子供は先づ第一に身體をよくしてやつて、快活にしてやつて、勞働が人間の生活の第一義であることを教へて、その周圍を圍む事物に正確な科學的知識を與へてやることです。

歷史、修身は子供には無用である。愉快な行進曲はいゝがセンチメンタルな又は教訓めいた唱歌や、戰爭の歌を教へてはいけない。譜はいゝ。又科學的發明を示唆する手工的な製作、それは勞働と結びつけて教へるがいゝ。

歷史なぞは大きくなつてから、それが支配階級のこさへた間違つたものであることを教へていゝので、子供のときには不用である。

無產階級兒童だからと云つて大人の無產階級が意識しイデオロギーしたそのまゝを何の消化もなく詰め込むのはよくない。子供は健康であれば、そして勞働が人生の根本なものであるとさへ教へてをけば、彼等は教へずとも社會の不合理を正當に批判するにちがひない。

强健で、朗らかで、希望的で、協同的に導けば大きくなつて正しく戰へる男と女とに必然になるのだ。

そこらを參酌してプロレ少年少女の教育プランを立てたがいゝ。そして何よりも根本なことは「事實」を第一として教へ込むことだ。

プロレ教育がプロレ、センチメンタリズムに墮するのは弊害である。（以上）

無產黨日曜學校を起せ！

木村　毅

政府が、小學校時代からもつと政治教育を施す方針だと云ふ事が新聞に見えてゐたが、これは當然な事である。幼ない

小學生の頭に『夫婦相和シ』だとか、貞操觀念だとか、いろいろ奇怪なものを注入する小學校が、今迄此れを無視してゐたのは心得ない。

英國では、政治演說を小學校の生徒が傍聽する事も許してある。總選擧の日には、各家庭ではその支持政黨のマークを胸に付けさせて、登校させる。かうして幼ない時から政治と接近親和させてある事が、買收その他の汚ない選擧違反の少ない原因になつてゐる事は確かだ。

私は小學校の時坪內逍遙氏編纂の國語讀本を二ケ年間だけ習つた。さすがに坪內博士は大學でビクトリヤニズム全盛時代の政治を專攻した人だけあつて、單なる文章の上のみの留意でなく、政治にも產業にも留意してあり、尋常三年の讀本に靜岡縣の共產村のこと、石炭や織物のこと、尋常四年に議會のこと、海外貿易のことなどが意識的に特殊な注意を拂つて配列してあつた。實は二三年前あれを久しぶりに繰返して讀んでみて、用意の周到なのに驚いたのである。

惜しい哉、教科書事件で、たつた二ケ年で一切の民間編纂の讀本は禁止となり、今の國定教科書制度となつた。

〇

小學校に政治教育をもつと施すと云ふ以上、合法政黨たる無產政黨の要求も一應顧慮されていゝわけだが、併しそこまでは望まないにしても少くとも無產黨が「無產日曜學校」を創設する事だけは認めて貰はねばならぬ。

日本の有識者やブルジョア階級には、日本の社會運動の將來が英國の如くに展開して行くのを希望する者が少くない。所で英國には社會主義日曜學校なるものがあつて、これが仲仲盛んなのである。

元より此の學校の組織は、初め基督教の日曜學校から思ひ付いたものに違ひない。最初の創設者はメリイ・ゲイ（一八九二年バッタシイに）だとも、トム・アンダスン（一八九四年グラスゴオに）だとも言ふ、その點は今見る人に依つて議論の分れる所である。

初めは小學校の先生の方から隨分迫害があつて、生徒をなるべく寄越すまいとしたやうだが、併しあの國は、家庭の父兄が學校より組合や黨の方を大切だと思ふまでに政治教育が行き屆いてゐる。うかうかすれば小學校の方で生徒を失はねばならないので、遂に教師の方でもあきらめたものらしい。一九〇六年（一書に九年とあり）には英國全土に出來た學校

に連絡と統一とを取るため「英國社會主義日曜學校統一評議會」なるものが設けられ一九二〇年のタイムスの報告によると學校數百五十三、生徒數一萬だと云ふ事であつた。今日では莫大な數だと思ふが、今、手許に明細な報告書を持たぬ。

○

社會主義日曜學校の出來初めには、何しろ教師も適當なのが得られないから、舊教の例に倣ひ「レッド・カテキズム」(赤色問答書)を教科書として使用した。つまり教師にも生徒にもそれを棒暗記させたものである。

今日では何しろ勞働黨が内閣を組織してゐる世の中だからその方面の知識も萬遍なく普及したので、この原理的な學科は組合の長老のやうな人が擔當し、その他は女學校や女子師範の生徒が敎へてゐる。

日本に無產黨日曜學校の設立が認められるとしても、吾々はその教師として、女學生などを借りやうとは思つてをらぬから、その點女學校の教師諸君は安心していゝ。たゞ小學校の教師が果して生徒を寄越すかどうかゞ問題である。いや、彼等も首が可愛いから寄越さないにきまつてゐる。

してみると現狀では、そのために無產日曜學校の開設は不可能と云ふ事になる。

これが英國のやうに黨支部又は組合の方から、却つて小學校教師に強要し得る所まで、政治教育が徹底してゐると、又仕事をする方法もあるが、未だそこまで行くには遠い。

普通に今日小學校を出て來た兒童に無產黨とか社會主義とかについて抱いてゐる考へをたゞせば、亂臣賊子のやうに思つてゐる。さうでないのは特殊の少數地方だ。

今日の勞働教育は、その觀念の是正から出發せねばならない事があるので、隨分と廻りくどい思ひをする事も珍らしくない。

これが若し無產日曜學校から來た際には、最初から積極的な効果は上げ得なくても、少くとも消極的にさうした枉曲した無產黨觀をもつ事だけでも防禦できる。

これを機として私は無產日曜學校獲得のための猛運動を捲き起したいと思つてゐる。

目標を無産兒童の組織に！

菊川忠雄

一、無産兒童の創造性

目下、十月四日より十六日までの豫定で市村座に上演され都下勞働大衆の間に異常なセンセーションを捲き起しつゝある左翼劇場の芝居「不在地主」の中には北海道砂川村の小作爭議に於て、村のピオニールが爭議戰線の一翼として活躍する場面がある。そこでは貧農の少年達が夜陰に乘じて不在地主のリンゴ園を荒す場面を演出してゐるのだがこの少年團の襲撃に備へるために傭はれたリンゴ園の番人達（小作人）が「あの子供達の中にはお前の所の伜も俺の所の餓鬼も這入つてゐるのだから捕へない方がよい……子供には子供の世界があるのだから仲間外れをさせるのは可哀想だ」といふ意味の嘆息を漏らす情景が興味を惹く。この情景はほんの短かい瞬間のことだが、それでも無産兒童の教育といふことを考へる人々には、貴重なヒントを與へるに充分であらう。

この場面では、父親達の貧農の社會が壓しつけられ、虐げられ、歪められ、或者は不在地主のために番人となつて貧農の團結を裏切つてゐるときに、創造的な子供達の社會は、一人の仲間外れもなく、一つの遊戲を戰つてゐるのである。この遊戲に於ては、地主に對する憎惡が生かされてゐる。或人は惡戲だと叫ぶかも知れない。しかしそれは何等の屈託もなく、小作爭議の戰線の一翼として戰はれてゐるのである。

今日の無産兒童の世界には、この種の傾向の創造力が不斷に潛在的に活動してゐる。然し、この種の活動はこれに適應する環境を與へられないために順調な生長を遂げられない。勞農階級の環境にまで浸潤してゐるブルジョア社會の慣習とイデオロギーはかゝる種類の活動を却つて、反社會性として排斥するのである。彼等の父兄や母親やその環境はこの創造力を萠芽の狀態に於て摘み取らうとするのである。無産兒童

は、かくして卑屈となり「無氣力」とされるのであるが、實はブルジョア社會の法則によつて彼等の創造力が、去勢されてゐるのである。さればこそ、彼等の父親達が、小作爭議や勞働爭議等の日常鬪爭によつて反資本主義の鬪爭に動員される瞬間に於て、即ち、彼等の父親達自身がブルジョア達の所謂「反社會性」の活動に向ふときに於て、無產兒童の世界の創造力は始めて惠まれた環境を得るのである。今日の勞働爭議や小作爭議等の場合に、しば〱ピオニールの活躍を見るのは、かゝる必然性の現はれと見られやう。

二、二つの無產兒童敎育

我々は、今日無產兒童敎育の傾向を批判するに當つて、常に上述の如き意味に於ける無產兒童の創造性を前提としてゐるのであるが、かゝる立場から我々の批判の對象とされるものに少くとも二つの無產兒童敎育運動の傾向がある。大雜把に述べれば、一つは社會事業團體乃至は宗敎團體の手によつて行はれるそれで、その立場は人道主義の範圍を出でない。他は無產政黨や勞働組合農民組合や、稀にはまた協同組合の手によつて行はれる所のもので、新興無產階級の敎育運動(プロレツトカルト)の、一分野としてのそれである。この後者が廣範な意味に於ける、社會主義の上に立つことは申す迄もない。

この二つの無產兒童敎育運動は、今日の社會に於ける支配的なるブルジョア敎育運動に慊らない所から出發してゐるので、現存ブルジョア敎育に對して批判的な態度を持する點に於て、外觀的には、或程度の共通性を有してゐる。例へば、ブルジョア敎育ではその對象たる兒童を彼等の環境(階級)と無關係に考へ、有產無產の區別なく取扱ふ――その結果は無產兒童を彼等の環境に對しては盲目にし、ブルジョア・イデオロギーをたゝき込むことゝなる――のであるが、無產兒童敎育では、二つの傾向の何れもが、その對象を區別してかゝつてゐる。また、その施設はセツルメントの方法により、無產兒童を彼等の環境から引き出して敎育するのではなくて、敎育運動を彼等無產兒童の環境の中に持ち込むのである。また、その敎育の内容の如きも現存するブルジョア敎育に追隨するのではなく、寧ろこれと對立し少くとも修正するものである。そこでこれらの諸點についてのみ、この二つの傾向を區別することは、單に困難を伴ふのみでなく多くの誤謬を犯す虞れがある。それでは、我々は如何なる點に於て、兩者を

區別し批判せねばならないだらうか。

この區別の重點は、イデオロギーの區別に終始することではなくて、一つの教育運動が、將來に於て、無產兒童の創造性を解放するための條件と如何に有機的に關聯を持つてゐるかにある。

三、教育を通じて組織へ

そこで問題は、上述の二つの無產兒童教育運動の傾向が、前述の如き小作爭議戰線に於けるピオニールの活躍の場面に直面したとき、その各々は如何なる感應を呈するかにかゝるのである。

從來壓迫せられ歪められて來た無產兒童の創造性が、その順調な生長を遂げやうとする瞬間こそは、人道主義的兒童教育の事實上の破綻を示すときである。かゝる瞬間に於ては彼等のセツルメントが持ち込んだ兒童教育はブルジョア・イデオロギーの燒直し以外の何物でもなかつたことが明かにされるのである。かゝる瞬間に於ては、プロレットカルトの一翼としての兒童教育のみが、この無產兒童の創造性の躍進的な生長をもたらすものとして證明されるのである。このことは我々が從來の理論的歸結として認めると同時に、今日の如き資本の攻勢の激甚なる情勢にあつて戰はれる多くの勞働爭議と小作爭議の中から體驗せられるものである。

例へば最初の農民小學校の試みは有名なる新潟縣下の木崎村の小作爭議に於て行はれて相當社會的衝動を捲き起したのであるが、其後に於ける小作爭議は、その深刻化と共に必然的に農民小學校の組織を見つゝある。しかし、今日に於てはこの組織は、單に爭議戰線の一翼乃至は爭議戰術の一形態として取扱はれることから一轉して、農民組合の組織と相並んで恒常的な組織とされる傾向にある。また都市の勞働運動に於ては、農民とその集團生活の樣式を異にすることからして無產兒童の教育組織は尙進展を見ない狀態にあるが、最近二三の勞働爭議に於てはその試みが行はれつゝある。かくの如く勞働組合、農民組合の如き日常組織が、最初は爭議戰術の一形態として採用し、次いでは恒常組織として發展せしめんとしつゝある無產兒童教育運動のみが、彼等無產兒童の創造性を解放する條件を備へるものである。これらのことは、要約すれば、無產兒童の教育の目標を常に、無產兒童の組織化に置くことゝなるのであるが、在來の幾多の無產兒童教育運動に於て批判されなければならない重點であらう。



讀者欄

毎號皆樣の詩歌や短い感想文を掲載します。皆樣の投稿を歡迎します。

私はぢつとしてはゐられない

武内利榮子

火鉢の中から
拾ひあげたバットの吸ひさしを
ぐつと一息すいこんで
さて
何から考へよう
米もない
炭もない
明日がまた來るのだ。
右を見ても
左を見ても
美しい瞳が一ぱいだ
そのひえ／＼とした視線の中を
私は何う泳いでゆけばよいのか
モナリザの微笑を浮べ
武士は喰はねど高楊子と
しづ／＼足をふみ出したとて
一度死んだら
二度とは死ねぬ世の中だ
暗い電燈の下に並んだ
四人の子供の
ふくらんだ寢顔よ
空を仰ぎ地にうなだれ
泣きゝれぬ貧しい母親になつた事を
私は今更何うしようと云ふのだ。

颯爽たるお母さん

武内利榮子

ある朝
廢園の中の朽木のかげで
野良猫の子が
そのお母さんに
しがみついてゐるのを見た
實に、實に
颯爽たるお母さんだつた。

和歌七首

○　能澤つや

歸り來てかるき疲れの眼にのこる
秋の谷間の草の色かな

秋來り二百十日も過ぎぬれば
空のけはひの靜まりにけり

○　山本孝子

なにげなし淋しさのわく夕なり
柿の實落つる音のしげくて

ペンの音かすかに立てゝ文書きぬ
こほろぎなける明き窓邊に

一臺の自動車の音遠のきて
町の夜いたく更けにけるかな

○　梅村たつ子

チャルメラの靜かに鳴りて
今日も亦鮮人の車訪づれて來ぬ

我が家のふすまにうつる鮮人の
やたい車の影のわびしも

農業問題の正しい見方

廣瀬庫太郎

◇

資本主義が發展して行くに從つて、農業の衰退的な傾向は段々に強く現はれてゐたが、資本主義が愈々其の終末的な段階に入るに從つて、農業は極度の衰退——滅亡を孕む程の危機に面して來た。

農業の極度の衰退は、全世界的な農業恐慌の襲來によつて加速度的になつて來た。此の農業恐慌の現れは

一、農産物の價格の慘落。米、繭、野菜等の價が、好況時代の二分の一乃至十分の一位にまで低落した。

二、農村金融の行詰り。金錢の貸し借りが全くなくなつてしまつた。肥料、種子、食料等に缺くことの出來ぬ費用まで絶對に調達出來ない。

三、耕地の價格の低落。中小農にとつて唯一の擔保物件たる耕地の價格が低落し、金融困難を加重する。

四、諸公課の増大。農民の收入が低落したのに租稅、諸賦課は少しも輕減されぬ。これは實質的には非常な増大である。

以上の諸状態は、農業の再生産を極度に困難に導いてゐる肥料、種子、耕作中の生活保障等の用意がなければ翌年の收穫を期待することは出來ない。しかも此の用意のない農民が非常な數——寧ろ中小農民の總てがさうした状態である。

何故にかうした状態になつたか、また何うしたならば、この滅亡的危機から遁れることが出來るか。

◇

先づ第一の點、農業の危機は何故起つたかの問題から考へる。

こうした探究はさまざまな人によつて行はれ、さまざまな結論を生んでゐる。まづ其の一つの研究として、これを現政府の經濟政策の破綻と結びつけ、責任をそこに持つて行く人

がある。

或る無産政黨の運動方針書に「……失業破産繭價下落を尖端とする全農産物の大暴落。農村はまさに「非常」の時であるこの總てに對して濱口內閣は全責任を有する」といふやうなものである。

其の破綻の重大なものは、一、金解禁の方法と時期を失したこと。二、米穀法の運用が正しくないこと。三、農村融資が行はれないこと。四、租税公課が減少されないこと。等々。

これが救濟策としては、金解禁出直し、農村社會政策、失業救濟事業、蠶糸救濟、借金支拂延期、租税公課減少等のことが號ばれる。

社會改良主義的な學者、運動者の多くは之を主張し支持してゐる。勿論、世界恐慌の影響、農業問題に內在する衰亡的傾向等も考慮に入れ、形式的には說明するが、本質的には常に現政府の功過を中心として論議し、問題の所在をそこに極限してしまふ。

こうした論議は一應な尤もらしさを備へてゐる。働いても働いても食べられない。こんな筈はなかつたのだと、漸く或は急激に、反省し初めた農民に、政府のせいだ、奴等が惡いのだといふことを吹き込むのは、極めて容易な道であり、我々が議會で多數を占めるならば、必ずこうなると說明する前提としても此上もないよい條件である。

しかしこれは本質的には農業衰亡の眞因を陰蔽し、副次的には社會改良主義的な骨拔き策の役目を果してゐる。

◇

少し立入つて考察して見よう。

こんな考へは、第一今日の政府が政府自身の考へで政策を立てたり、之を遂行したりするものでないといふことの無理解から出發する、內閣の今の政策は日本ブルジョアジーの最も重大なる段階的役目を果してゐるのだ。彼等の意識による單獨での方向轉換は出來るものでない。

從つて內閣の經濟政策か、內閣全體、若くは閣員等の意識から出たと見るのはお目出たい考へ方である。彼等の一切の主張は、日本ブルジョアジーの政治的プログラムに從つてのみ、現實化し、具體化されるものである。

民衆の攻擊が、濱口や安達に向けられ、其の鬱憤が、議會や新聞を通じて現はれてゐることは――その限界內にある間は、ブルジョア的政治機構は極めて安泰なものである。

政治的手段で——自由主義から社會改良主義者が政權に近づくことに依つて——問題が改たまるといふことは、同時に此の主張の核心をなしてゐる。政治的手段（議會行動）でどうにもならない問題は此の人々の考察から勝手に省かれ、殊更にボンヤリした概念に押込められてゐる。

其の主なるものを擧げると

一、農業恐慌は世界的な規模に於いて廣がつてゐること。各國の特殊性はそれ〲恐慌の現はれ方の相違であるに止まり、恐慌自體は例外なしに一般化されてゐること。——これに關して以上の見方に立つ人は、世界的恐慌だから仕方がないと云ふ、井上藏相的結論より外に道がない。

二、次に農業は資本主義の發展に應じて衰退する。近代に於ける資本の蓄積は、主に農業經濟を食荒すこと、植民地の收奪を行ふことに依つて行はれた。其の何れもが、資本主義による非資本主義的環境の蠶食であつた。この衰退的な傾向が世界恐慌にあつて、急激に沒落に瀕したのである。從つて農業問題は、資本の運動と切離して考へることが出來ず、また之を關聯させない考方は、何時までたつても問題の核心に觸れるものでない。

兩者の關係を相關的に見ない人達は、工業に對して農民の割の惡い點を、「農民の政治的無力」と言つたような概念で說明しようとさへする。——右翼無産政黨の諸理論家——

この二つの點は特に陰蔽されて、ボンヤリさせられてゐる主なる點である。

◇

農業問題だけを他の問題から切離して個別的に、孤立的に考察しようとする一派の人々がある。此傾向には二つあつて一は農村の地主階級（或は中小農）の立場から、都會の資本家に對抗し、一は農民（貧農）の立場から都會一般に對して挑戰する。其立場は各々異つてゐるが、其方法論に於いて頗る近似し　同樣に都鄙鬪爭を肯定してゐる點に於いて同一の結果に達してゐる。

帝國農會、及び一般農政學者等が、米價調節繭價維持、農村金融の改革等を農民の立場から要求するのが前者であり。農民（貧農）は、都會から搾取されてゐる。都會と戰つて之を取戻せ、勞働者も亦農民を搾取すると號ぶ——雜誌「農民」などによつて代表されてゐるのが後者である。

これらの根本的な誤謬は、問題を局部的にのみ觀察し、ま

た其の表面の形だけに囚はれて、根本に流るゝ傾向、法則を掴まふとしないことだ。

たとへば、此の人々は、農産物の價格が工業品の價格に比べて甚だ安くなつた。特に恐慌時の物價低落が農産品の方面に於いて特に甚しいと云ふ。

誠に事實はさうだ。しかしこれは都會の搾取でもなければ況して工業勞働者の農民より優越してゐる證據でもない。

この原因の最大なるものは、工業資本家がカルテルを作つて其の價格を防護してゐるのに農民が無防備で價格闘爭の仲間入りをしてゐること、及び

恐慌の犠牲は一ばん地盤の軟弱な方面に轉嫁させられること、工業の犠牲が農民に轉嫁させられたことである。

◇

これは工業、農業の對立とは根本的に違つてゐることである。これは本質に於いて資本の生成、沒落の過程と並んで惹起さるゝ問題である。

これを別々のものとなし、資本の運動は、單に勞働者と資本家との關係、農業問題は、單に農業對工業の問題として考察することは、それが意識するとしないとに拘はらず一般に

次のやうな結果に立至るものである。

勞働者と農民との解放戰が、いま沒落に瀕する資本主義との間に戰はれてゐる。此の戰に最も必要なのは、沒落期資本主義の本體をハッキリさせて其の逆襲に備へ、我々の行路を明るい松火によつて照すためである。

これと別に、闘爭と無關係な課題を多く取扱つて、戰の意識を曖昧にし、都鄙闘爭といつたやうな、果しなく效果なき問題に引入れやうとすることは、實質的には反動的な役割を果すことになる。

問題を取扱ふ上で單なる知識的興味や、窮理的要求は抑けられなければならない。知識を弄ぶのは沒落する時代と沒落階級の事業である。

農業問題をさま〳〵に解釋する人は何時でもあつたが、それは常に無用である。問題は如何にこれを「變革」するかにあるのだ。

◇

次に對策の問題に就て一瞥しよう。

全國大衆黨は其の闘爭方針書に、一、養蠶損失の補償、二農民の納税の一年猶豫、三、小作料引下げ、四、現金支拂猶豫

五、肥料の無償配給の五箇條をあげてゐる。

これを「死線の農村を打開すべき緊急非常政策とする。責任は濱口內閣にあるのだ。緊急非常手段をとるべきは政府の義務であり、これを要求するのは吾等の權利である」と

社會民衆黨の闘爭方針も大同小異であるらしい。農民の損失補償、減税、金融改善等が其の根本的な主張だ。これらの兩者と直接間接に繋がりを持つ思想家學者も殆んど同樣の考へをもつてゐる。

これらの對策論は宣傳的な效果、及び運動のための粉飾をもつたものであり、幾分手心して批判しなければならないのは當然であるが、我々は以下の理由によつて之を重大な誤謬と斷ぜざるを得ぬものである。

此等の闘爭方針は、かうした手段によつて、換言すれば政府の農業政策によつて農業問題が形づくといふことを誤認せしめてゐる。

一切は濱口內閣が惡いのだ。魂を入かへてやればよい。彼等によつて農民の狀態が改まるといふことである。

從つてブルジョア政府による農業政策や、保護施設ではどうにもならない。問題は資本主義の全體制と密着してをり、それが改造と變革なくしてはどうにもならないといふことは爪のあか程も言はれてゐない。

寧ろそれは殊更に回避されてゐる。そんな風に考へたり論じたりするのは無產政黨の領域外の問題だと云ふが如く。

更に其の要求の悉くが農民の大衆的行動を基調として號ばれてゐない。政府の政策的轉換を中心とし之を中樞的要求として揭げてゐるのである。

◇

穀價下落による損害補償と穀物價格の維持と借金を猶豫させることが何故出來なくて、銀行恐慌時の厖大な補償がどうして出來たか、そこに問題の焦點がある。

恐慌時にあたつて日本の金融資本が政府の補償を要求し得たごとく、農民階級の合法的運動が、其の議會主義的要望に於いて政府の補償を獲得し得ると思ふのは――思はないまでも、そんな形態に運動を進めるのは自分達の認識の低さを現はす以外の何物でもない。

個々の農民の困つてゐる狀態を、資本主義全體制の崩壞過程と結びつけて考へ、戰を單なる政策轉換の領域に止めず、資本主義全體制に對する戰にまで昂揚することが現在一ばん

必要なことである。

個々の具體的な、現象的な問題に止まつて、それが救濟安定の道を探求したならば、恐らく改良主義だけが總てだとも認識されよう。意識的にさうする人々は別として、我々は農民の戰が斷じて斯かる低所にをるべきでないことを主張しなければならない。

◆

現代に於ける政府の政策は要するに、何等の本質的改良若くは改良をなし得るものではない。農業恐慌に對しても全く同斷である。

政策的な手段は要するに、急激な苦しみを緩慢な苦しみとし一時的な打撃を、なし崩しに轉換させる位なものである。これによつて民衆を僞瞞するのが其の役目だ。

これは自由主義の政府でも、社會民主主義の政府でも全く同斷である。社會民主主義政府は外國ではよき月賦販賣人のやうな役目を果してゐる。資本主義の重荷はそれによつて段々と繰延べられてゐる。

我々は今全世界的な農業恐慌に面してゐる。無産農民が、未曾有の艱苦の中に置かれてゐる時だ、徒らに問題を回避したり、一時的偸安を期待すべきでなく眞に終局的な目標を見失はずに進まなければならぬ時だ。

農政學者や、自由主義者、改良主義者等々は今時を得顔に農村の問題を私議してゐる。さうして幾つかの謬論の網を投げては、農民大衆の足許をねらつてゐるのだ。

我々は勃發し來つた農民の不平反抗を、資本主義全體制に對する戰にまで進めなければならない。徒に濱口が惡いとか投機屋が惡いとか、政府の補償で遁れやうとかする、つまらない廻り道を廢除しなければならない。

農業問題の本質に對する理解と、之を正しく把握する上に築かれた正しい戰術が今打建てられなければならない時期だ農民は今必死の戰に進んでゐる。此の戰を正しい勝利に終らせやうではないか。

左翼劇場の

「不在地主」を觀るの記

市村座で、左翼劇場が「不在地主」を演じるといふことは、——而も、十日間、勞働者・學生・俸給生活者などの絕大の支持のもとに公演され、そのために警視廳から三日間の短縮を强要されたことは、いろいろの意味で、私どもの考へねばならぬ點が多いのであります。

×

「不在地主」はナップの輝しい作家、小林多喜二氏によつて創作され、左翼劇場の小野、島兩氏が脚色した・北海道の不在地主の農場の小作爭議が都市のプロレタリアートとの堅い同盟のもとに、輝しい勝利を得た物語であります。北海道の貧農の生活・村の政治的經濟的からくり・小作地に住まぬ地主との三つの結び目が、不作に襲はれることによつて、暴露切斷されて、遂に小作爭議が發生する。

先覺的農民の「組織との結合」・地主へ

無產少年團と無產小學校

伯林に於ける——第二回國際兒童鬪爭同盟大會

七月の廿三日から廿七日までの間に、伯林で、第二回世界兒童鬪爭同盟大會が行はれた。始めてハッレで、國際的鬪爭が行はれる筈であつた。が獨逸國家的官僚と社會ファッショ的警官共が、兒童の大衆行列を形式的に「衞生上」の理由から、協力して禁止した。

この禁止理由は如何に僞瞞的であることか？

ブルジョアジーは殆んど每日、國際的解放祭とか、共和制的祭憲法發布記念祭とかもしくは、あらゆる種類の宗教的行列の爲に、兒童の大衆行列を行つてゐるではないか！

勞働者兒童の衞生上の幸福に就いての、

ハッレの俗人共の怪念は、特に次の點に存した——ブルジョア社會は勞働者兒童の衞生上のあらゆる原則を無視するのが常である。

殆んどあらゆる都市に於いて、小學校の衞生設備の經費は「節約」の理由から、哀れにも削減された。

リュベックに於いて兒童虐殺は今尙行はれてゐる。ハッレに於ける國際兒童鬪爭同盟は事實禁止せられてゐる。何故なら、ブルジョアジーと社會ファッシストは、國際的プロレタリアートの團結の精神で、勞働者兒童を敎育することを、惡魔の如く怖れてゐるのだから。

それにも拘はらず、國際兒童鬪爭同盟大會は行はれた、而も伯林で行はれたのだ。恐らくツエルギーベルは此の會議を禁止しようと努力したであらう。

だがハッレの禁止は、既にあらゆる階級意識ある勞働者の親達の考慮をわづらはし

の忠誠に仲間を裏切る者・意識の低いものの不安・地主の强力無慈悲な「立毛差押へ」警察や役場や小學校の階級性の暴露・組織による鬪爭の强さ・勝利のために絶對的に必要な勞働者との緊密な同盟、彼等が、貧農の「醬油も買へぬ貧しさ」や地主の妻や娘の「超現實的な我が儘とヒステリー」や我利々々一徹な地主・資本家どもの新興階級の豫想外の同盟に驚愕・狼狽する「漫畫的情景」等々の伴奏のもとに、力强く描かれてゐます。

×

作品の持つ階級的熱意と演劇者の階級的熱情とが結合して、尖鋭化した今日(所謂第三期・資本主義の沒落期)の階級對立の社會に、――さうして、一切の階級的な鋭角が「公然たる社會」から潜んでしまつた現代に、この演劇を通して「公然たる左翼への共鳴・支持」を觀衆にアジつて、見事に成功してゐます。

×

この戯曲を都市で演出する意義は、生死の境に追ひ込まれた貧農の革命性・それの必然的發展としてのプロレタリアートとの

たのであつた。此の大會の禁止に對する最上の抗議は、「諸君の兒童を、兒童スパルタカス同盟に送れ!」といふことだ。

伯林に於ける國際兒童鬪爭同盟を支持せよ!

未來は青年のものだ!

(池田壽夫)

ソヴエート・ロシアに於ける 兒童の組織と活動

サウエート・ロシアでは二百万餘の小供が組織されてゐる。そうして、この組織された二百万餘の小供達は百八十万餘の××黨、二百五十万餘の　青年團員と同樣に××黨の指令下に統制せられ、國際××主義運動の重要なる部隊をなしてゐる。

××黨は、本部、××青年團、教育人民委員會及び勞働組合より指導者を派遣し、都市で、農村で、子供の談話會を開き、平易に國際政局の話をなし、記念日にはその沿革を聞かせ、又は××黨大會の決議や政府の施政方針等を平易に説明して、子供の

政治的教育をなし、或はピオニールの一隊を連れて兵營を見學し、又は赤軍の日常生活や演習の活動寫眞を見せて軍事教育をなす等々、斯くして、將來の　黨員の養成に努力してゐる。

ピオニールの團員は都市に、農村に、サヴエートの社會的、經濟的建設のテンポと共に、年を追つて増加し一九二二年には四万人だつたのが一九三〇年には遂に二百万有餘に多數になつた。

「五ケ年計畫を四ケ年で!」「五ケ年計畫に婦人と子供を参加せしめよ!」サウエート・ロシアは國を擧げて五ケ年計畫の遂行・社會主義社會の建設に怒テンポの努力をしてゐる。婦人も子供も動員された。ほんとうの意味の國家總動員だ。凡ゆる建設事業に勇ましい婦人や子供が躍動してゐる。

そうして「今ぞ知る我等が……」の歌を聲高らかに唄つてゐる。(原口健三)

日本最初の無產小學校

木崎村無產小學校は、大正十五年新潟縣

結合の「階級鬪爭に於ける効果」を勞働者（並に無産市民）に現實的に理解させること【言葉を換へるなら「無産階級の解放のためには、プロレタリアートと貧農の結合が絕對的條件であること」を、理解させることであります。——この事業は、官憲の不斷の×壓と戰ひ、多くの削除・制限を受けつゝも尙ほ、その集團的エネルギーを階級的に訓練しつゝある左翼劇場の戰士達の力によつて、見事に効果あらしめることが出來ました。

×

繭・米の暴落、稅金の過重、地主への小作料の未納等々は、全國農民組合の左翼化・小作爭議の×動化となつて現れ、一方都市プロレタリアートの××的蹶起の豫想が各産業別のストライキの××化を通じて實現されようとする秋、——この芝居上演の自由を戰ひとつたことは、我々の喜びでなければなりませぬ。

さうして鬪爭の激化は、治安維持法に觸れる幾多の犧牲者を、次々に出してゐるが皮肉にも「この戯曲上演の日」原作者小林多喜二氏は、自らの意志に反しての「不在」

の小作爭議の時に發生したもので、日本に於ける最初のプロ小學校である。

木崎村一千の兒童の中、地主及地主側の農民の子弟二百餘の外は全く登校せず、皆組合の學校へ通つた。兒童は通學區域によつて、自主的少年團をつくり年かさのものが團長として幼弱者を導き世話して、無産者の團結の威力と効果とを示した。

一方新潟縣聯合會では、稻村等を各地へ送つて爭議の事情と學校開設の急務をとかしめた爲に、賀川豊彦を中心にして無産者教育協會を作つて之を援助する事とした。

其他大學生等が無給で小學教師たるべく志願する者が多くなつて來た。教員中の先覺者、野口は東京に有る現職を放擲して農民學校へはせ參じた。

以後野口等を教師等の中心として林間學校、臨海教育等を計畫實行した。

彼等は自分等の中に辯論部をつくり組合の演說會には代表を送つて父兄をはげますまでになつた。

官憲と反動は血眼になつて之を妨害した小學校の教師等も授業をすてゝ家庭訪問をはじめた。だが父兄等が變說しさうになつても兒童がきかぬ。

やがて本を讀めぬ子供が讀める樣になつた。算術をやれぬ子が、どうやら加算をやる樣になつた。卑屈で育つた彼等はこだはりない愉快な兒童にかへつて來た。

自墮落で育つた子供の團體は一糸も亂れぬ集團生活をなす樣になつた。そして彼等は小さいながらブルジョアの機構に對してプロレタリアで有るとの自覺を持たのだ。縣では此の進み方に極度におそれをもつた何とかして解散せしめ樣とした。

しかし、大勢は決して動かす事は出來ぬこうして居る中に、學校校舍が出來上つた。そして其の落成式の夜、ついに二千の農民と三百の警官隊との衝突を生み出した。

縣聯合會の主腦部は全部鐵窓下につながれた。（七月廿五日午後九時、月下の久手橋亂鬪事件が之で有る）

此の期を利用して官憲は總攻擊の彈壓振を示した。演說會デモは毎日の樣に警官隊と衝突して居た。

此間に學校は正服の臨監をうける樣になつた。月は流れ九月が迎へられる頃、勞農黨分裂の内部鬪爭があらはれて來た。縣の

を餘儀なくされてゐます。

勞働者と農民の同盟萬歳！
階級戰士の即時釋放！
政治的自由の獲得へ！

◇ソヴエート映畫「トルウクシブ」

勞働者と農民――働くものゝ階級が勝利を得て、困難な××社會への互歩を歩みつゝあるロシアの映畫。新興國の・堅實不抜な建設時代の一斷面としての鐵道開設が、力强い線で描き出されてゐます。ブルジョア映畫がエロとジャズに民衆を眠らせてゐる時、これは新興階級の決定的勝利を暗示してゐます。

新刊紹介

――本社代理部取次――

◇マルクス主義と婦人問題

（レーニン・リャザノフ著）

リャザノフの「マルクス主義と結婚問題」とレーニンの「婦人に與ふ」とツエトキンの「レーニンと婦人問題」とドイツ共產黨

指導幹部は皆日勞黨に走つた。

こうした間に、つひに學校解散命令が出る事になり、兒童はプロレタリアの訓練をうけたまゝ再び村立小學校へ復歸したのである。(T・M)

青砥村のピオニール

東京府南葛飾郡青砥村の全農少年部と、隣りの水上村の少年部のピオニール達は合同で七月六日、同三十日に地主に××對するデモとピオニール訓練の目的で鴻ノ臺公園迄行程二里半のデモとピクニックを決行した。

其の日ピオニール達は長い竹の先につけた×旗にかいてあるスローガンに是非目を止めなくてはならぬ。

ミナサン！
オトウサンヤオカアサンノ
イヒツケヲヨクマモリマセウ
全農東京府聯合少年部

青砥村や水上村のピオニールはデモやピクニックやストライキ闘爭の蔭に、地味な日常闘爭の訓練が行はれてゐる。日曜學校を中心にピオニールの教育、自治的訓練が行はれてゐるし、各種のポスターやレポがピオニールの手によつて作られ、ピオニールの自治的統制の下に配布され、貼られるのだ。(O・S)

大島の無產小學校

大島の無產小學校は小作爭議から發生した木崎村の無產小學校以來、都市勞働爭議を原因として生れた日本最初のプロ小學校である。

學校は大島町一ノ一八五の小さい裏長屋の六疊四疊半三疊の三間を打通して教室とし、一年生から高等一年まで約五十名の子供を敎へてゐる。生徒は全部大島製鋼爭議團員の子弟で、全部では七八十名もあるが交通その他の都合で來られぬものも少しはある。

爭議は八月四日から今日まで續いてゐるその間高い月謝を拂つて、然も父兄達が生死の境に立つて闘爭してゐる時、子供が平

の「婦人の解放と政治」が集められてゐる。婦人の必讀書。

新時代の結婚・性問題・家族問題・プロレタリア婦人の任務・勞働婦人と政治等々の正しい・解り易い・解說であり、指導書である。(新城信一郎譯・定價七十錢・共生閣發行)

◇女性の生物學的悲劇

(ア・ネミロフ著・世界社譯)

ネミロフ氏はサヴエート・ロシアの科學者、新時代の女(男)性の心得べき正しい性科學の敎科書。——性器の構造・性的成熟の準備・週期的な生理的變化・最初の性交の意義・性の奴隷・更年期その他、女性が生理上の悲劇を避けるための心得が大膽に說かれてゐる。(定價八十錢・世界社發行)

(第三段のつゞき)

の犀が遠く離れて自働車にひゞいた程だ。

先日もフツトボールの遊戲中高く立てた赤旗を巡査がとるとオドリ込んだのを、×旗トルナラ、サーベルとるぞと、ガン張り通して、オンワアンの組合よりも强いのだと威張つてゐる。團長、班長、書記、會計、傳令、堅い統制の下に五班に分れてゐる。

氣でプロレタリア・イデオロギーに反する公立學校に行けるものではない、子供も一緖になつてビラマキもやり日曜日を利用して日比谷公園にデモもやつた。

學校に於ては普通の敎科書を用ひ、學課も大體同じやうにした。然し取扱ひ方によつてはこれで立派にプロレタリア敎育が出來る。九月二十一日の日比谷でのデモによつて幹部五名は檢束され、引つゞいて敎員二十九日の拘留に、最後に學校は當局の彈壓によつて先日解散を餘儀なくされた。

(M・K)

豐里勞農少年團のデモ

下は尋常一年生より高等二年まで、十四五歲を上に(十六歲以上は青年部)現在約百名。

此の宮城一の貧村豐里は戶數千戶もありながら地主は殆んど他村、小作人ばかりで、一村合計八十餘万の借財をもつのをみても百姓の苦しさを文字通りに體驗してゐる。

此の貧乏小作人の家に生れ、小作爭議の本場、デモと檢束、警察自動車、サーベルを生れて以來み、抗爭すべき相手をはつきりみて育つたゞけに、資本論こそよめないがその內容はヘボ學者や、ダラ幹以上に身をもつて知つてゐる。

今年のお盆を前にして農民組合經營の豐里消費組合に學用品の原價販賣をしてもらつたが褒ずに作つた白いマユが赤イゼユでしかウケとれぬので、エンピツ一つ買へねいや、と「學用品を全部學校でカツテクレロー」と學校でビラをマイタことから敎師に少年團にはいつてゐる奴は全部退學さすと云はれたことから「そんなバカな地主の味方する先生はすぐに村から追ひ出せ」と總勢七十名、ワツツヨ〳〵で學校に押しかけて、少年團がドコが惡いのだとつめよりそんなことを決して云はぬと云ふ敎師に、云つた〳〵てトウ〳〵謝罪さし、以後「少年團は××黨の卵だから惡い等と決して云はぬ」と校長立合ひの下に誓約さして引上げたが、報告中ばにデモを指導した組合幹部の檢束にも屈せず、奪はれ行くオンワアンを返せと村はずれまで自動車を追ひかけ今にみやがれスパイの奴等ドツコイシヨ一人〳〵をコリヤ生ウ〇〇よチヨイナ〳〵

消費組合講座【二】

消費組合と改良主義

（編輯部編）

◇消費組合主義の内容

消費組合を其經營の上で成功せしめ、其勢力を增大して、資本主義の利潤經濟（金儲け主義）を徐々に打壞して行かうとするのが、消費組合主義であることは前號に述べた通りである。更に之を詳述すると

一、消費組合は其經營の樣式が利潤（儲け）を生まないやうに出來てゐる。だから消費組合が大きくなれば利潤を中心とする資本主義はひとりでに崩壞する。

二、消費組合は平和的な手段によつて徐々に資本主義を改めて行くものであつて、階級鬪爭や、急激なる變革を伴はず、寧ろそれを回避するものであること、

三、階級鬪爭を主張する他の無產階級團體と協力しないばかりでなく、寧ろ消費組合の機能はそれ等と全く異つた獨自の道を行くものであることを强調し、その前提の下に他の團體と關係する。

何他にもさま〴〵の內容をもつてゐるが消費組合主義の根本的な主張は、ほゞ以上の點に存在してゐる。

◇資本主義は蠶食し得るか？

消費組合の組織が擴大すれば、利潤經濟の領域をそれだけ蠶食して行くことは勿論である。その蠶食が資本主義全體に及ぶならば、資本主義は同時に崩壞するであらうし、さうした容易な道によつて、全被壓迫民衆の生活が救はれるならば誠に此上もなきよき方法であるが、左樣なことが決して現實に起り得ないことは、難かしく論證するまでもない。

今日商業の部門に於ける大資本の獨占的な活動（デパート、連鎖店等の大げさな運用）が極めて盛んになり、中小商業家は、未曾有の壓迫を被つて、日毎沒落の淵に入らうとしてゐるとき、事實上中小商業と同じ實力をしか持ち得ない消費組合が、獨りこの經濟的な大勢から獨立し孤立し得られるだらうか？

また今日は世界的に救ひやうなき恐慌に襲はれてゐる。大衆は極度の貧窮に押こめられ、失業洪水は全世界に汎濫し、農業は急速な步みを以て沒落に突進んでゐるとき其の大衆の極度に縮小した購買力（物を買ふ力）を對象として、それから得る小額の剩餘を積み立てる等のことは、貝殼を以て大海の水を汲みほさんとするがごときものである。

消費組合は偉大なる目的をもつ。此目的に對する大衆の支持と協力は、凡ゆる時期を通じて消費組合を强力なものにするであらうと考へられるが、こう考へて來ると既に經營によつて「資本主義經濟と一定の聯絡を保ちながら次第に之を蠶食する方法」（本位田敎授）としての消費組合主義精神とは少し變つたものになつて來る。

◇古い型の理想家

消費組合を擴大することに依つて平和的に資本主義を改めて行くといふことは私共の考へでは、全く不可能なことである。これは論議するまでもなく自明（わかりきつた）なことだ。資本主義は總體としてのそれが崩壊か、總體としてのそれの生成か、より外に道はない。徐々に改造するとか、なし崩しに變革するとかいふことは、事實に於いて資本主義の強力化をもたらすものである。況してそれが階級闘爭の否定の上に打建てられた概念だとすれば、實は不可能な夢を以て、大衆の闘爭性を鈍らせ、社會的安全瓣の役目をしようとする試みに外ならない。

消費組合運動者には古い型の理想家が多い。この人々の最大の弱點は、自己の信奉するところが、資本主義の現勢や大衆運動の狀態等と如何なる相互關係を有つてゐるかを理解し得ないことである。恰も田舎醫者が、凡ゆる病氣にアスピリンか健胃劑を盛つて見るが如く、強壯なるも、衰弱せるも、胃病も、肺病も殆んど同じ處法で行かうとする窮屈さを多分に持合せてゐるものが極めて多い。ロッチデールの原則も無批判的に日本の現代に當嵌めるならば、確かに田舎醫者的方法に終るであらう。私共に必要なのは、如何にそれを現實的に生かして行くかといふ點にある。

◇消費組合モンロー主義

また消費組合主義者は、消費組合の獨自の道を常に強調する。勿論、勞働組合にせよ、無産政黨にせよ、それ〴〵に獨自の道がある。しかしながら消費組合の所謂獨自の道は決してさうした運動形態の相違から來た程度に止まるものでない。それは目的意識の問題にまで飛躍してゐることである例へば我國の消費組合聯合會が綱領とするが如き「消費組合による生産分配組織の確立」（これが資本主義現存秩序内に於いてかプロレタリヤの勝利の後に於いてかは何れでもよい）といふやうなことが、必然的に勞働者、農民の他の組織と、對抗的意識にまで高められて來る。聯合會の人々が之を標榜した心理は別に大したことはなくても其の必然の成行きが、消費組合モンロー主義（一つの繩張りを設けて他から入ることを許さず、また他にも關係しない）となり他の運動に對する排他的傾向となつて現はれる。殊に無産階級が一團の力となつて帝國主義ブルジョアジーに對抗しなければならぬとき、此綱領の持つ社會的功過は大いに吟味さるべきものであらう。

◇消費組合は改良主義でない

消費組合は改良主義だ。これに對する協力は、無産階級の階級意識を鈍くするといふ一般的な批難は上述の消費組合主義的傾向に對しては確かに當嵌まることであらうしかしながら、さうした見方が一般に消費組合に當嵌るだらうとすることは明白な間違ひである。寧ろ眞に消費組合運動を知る人は、之が勞働組合、無産政黨（無産政黨運動の功過は今や大いに再批判を要する時だ）と同樣に、重大なる意義を有つものであることを承認する。

消費組合は其の消費者としての理解と體驗に基づいて、無産階級を解放戰線に動員する道である。物資を介しての無産階級の強力なる結合、都會の勞働者同志——或は農民と勞働者の結合が農民組合、勞働組合の強化と相對應して押進められつゝある。これは現在解放戰の途上に於いて如何なる意義をもつものであらうか。

起ちあがつた農村兒童

織田顔

「私は、小金を貯め、役所へコツコツと通ひ、子供等を大學までやつてやらうと計畫してゐる單純な人々を見ると不思議にたえない。

彼等の子供等は、狂暴な、惡魔的な化學的戰場に兵士となるだらう。そしてガスと、レヴイジテ(毒ガス)と、資本主義とによつて、山野に××されるだらう。」

これは、マイクル、ゴールドの短篇集の中にある一節であるが、この明瞭な事實が、刻々と近づきつゝある。

しかし、小金でもため得る役人どもの子供が、熱心にナンセンス教育を享樂してゐることは別の話として、此處では、そんな呑氣なことではないのだ。

×

「孝行美談」や「感心な少年少女の話」の報道に乘氣になつてゐたブル新聞も最近特に激しくそれも全國的に「起ちあがつた小學生」の報道に換えなければならなくなつた。彼等としては非常に嫌なことだらう。さればこそ「どうも困つた。テンシンランマンな兒童をキズつけるものだ」と暗い顔をして、なるべく世間に知らせまいと企て、又各地に作られるピオニール（勞農少年團）に解散を命じてゐる。

彼等としては、どんなに農民が、食えなくなつても

「山梨縣東山梨郡加納岩村大野の爭議で農民組合員の子弟は同盟休校し、三十名が一團となつて×旗數本をかざし××歌を高唱し地主宅を包圍し示威運動をした」(國民新聞)では斷然、だめなので、

「岩手縣二戸郡浪打村では干害のため農民の食糧が缺乏し、缺食兒童も續出し、せつぱつまつた案として、兒童の朝食を節約するため、朝寢の習慣がついた」(時事新報)

の方が、いかにもかわいさうで、早速、貧困兒童救濟としやれたいのである。

×

今年の四月(新學期)にある農村の生徒がこんな作文を我々にみせてくれた。

學校がはじまつた。僕の弟もこんど一年生にはいつた。地主の子は新しいぼう子と新しいカバンを持つていばつてやつてくる。

僕の弟もカバンとぼう子をほしがつ

てお母さんにしかられた僕やねえさんや弟の本やざつ記帖やセキバンを買ふためにカネがいるからだ。授業料もはらはねばならぬからだ。お母さんはかう言つた。

「おまえらは、學校に行つても、ちつともやくにたつ人間にならないのにおかねばかりかかる」と。

お母さんは僕が惡いからやくにたつ人間にならないように思つてゐるようだがそれはすこしむりだ。

いくらかんがへてみても、僕らはお母さんのやくにたつようなことは學校では少しも習はないのだもの。

讀方にも修身にも、家のくらしがらくになるようなしかたは書いてないのだ。こんな學校に授業料なんかはらひたくない。本なんかもなくてよいのだ。本は學校でくれたらよいのだ。授業料もただにするのがあたりまへだ。」

農村兒童は、學校の先生が代つたり校舍の移轉増築の工事や、×××奉安庫の設置や、農産物品評會や、その他の問題まで、村で威ばる地主や村長や校長などだけで、自分らの都合のいゝやうにだけやつて行つてゐることを散散みせつけられてゐる。

殊に直接に彼等が見聞してゐるのはよい先生が不意に首をきられたり、轉任になつたりすることである。

子供達には(そして、その親達も)長い間、誰が一體、それらのカラクリをしてゐるのか、わからなかつた。

それがわかる時が來た。そして起ちあがつたのだ。

×

敎化總動員と言ふ政府の命令で、校長さんや、村長さんや、和尚さんや、駐在所の旦那が、とても勇んで、仕事でへと／＼疲れた村民を、學校の講堂に集めて、金解禁や整理緊縮や産業合理化の話を長々と、やつて聞かせたのは益、先達の事だつた。

そこでお言葉通りに、オホトケ様にすがつて、まじめに稼いだが、それから未だ一年も經たぬ間に不景氣の大襲來。

破産、發狂、自殺、犯罪の激増、工場閉鎖、ストライキ、小作爭議、失業者の大洪水。

何もかもわからないで、居られぬ筈はない。

×

どんなに純情、天眞爛まん(御用教育家や自由主義教育家が喜んで使用する言葉)な子供でも。

×

秋田縣南秋田郡下井河村の小作爭議は永い間續いてゐたが、去る日の夕刻同村の無産少年團十數名は地主の家を襲ひ垣根を破壞し、ガラスに投石し、地主訓導二名の家に押しかけ、辭職を勸告した。

島根縣跡市村の强慾地主有田丈吉は農民組合員に土地と家を明け渡せと濱田裁判所へ訴訟を起した組合支部では

その裁判に、息子や娘まで（學校なんかにのんきに行つてゐられるか）總動員して、押しかけ、有田丈吉のハゲをふるへあがらした。

こんなニュースをかいてゐたらきりがない。嫌々ながらもブル新聞は臆病な筆先で、次から次へと我々に報告してゐるのだ。

×

階級闘争を阻止し抹殺する（教育は超階級性の名の下に）役目を引きうけて來た全國の教員大衆も、此の少年達の現實的なはつきりした對立を知らん顔で（それは生徒のにくむべき敵だ）過せるか。そして又、自分達に襲ひかゝる魔手（馘首、減俸、俸給不拂、不當轉任等）に對しても。

起ちあがつた兒童の味方となるか、敵となるか。

×

先日、ある短歌雜誌を開いてみた。其處には小學校教員らしい人の歌も澤山みえた。

「博愛つて何だ」と聞けば、負けん氣で手をつきあげた濟吉よ、お前は今朝朝飯を食つて來てゐない筈だ。

此の教室に朝飯食へぬ子が三人もゐる、博愛てことは知つても、朝飯は食へぬぞ。

眞ん中が空つぽぢや頭の中もからつぽさ、反動教育なんぞ、これつぱかしかも聞えるかよ。そつぽむいてあくびッたらしだ。

視學官が、くるから此のボロ服を更へよとだ。あゝインテリ教師の此の奴隷根性。

自分等の小使取りにはふざけた講習會をさんざんやらかして、安月給のおいらは二割減だあ　畜生！

子供を叱つたと押しかけて來た地主畜生のぼせるなと私は校長室に行く

雨が降つて體操が出來ない時間だ兒童をよせて「少年戰旗」を讀む

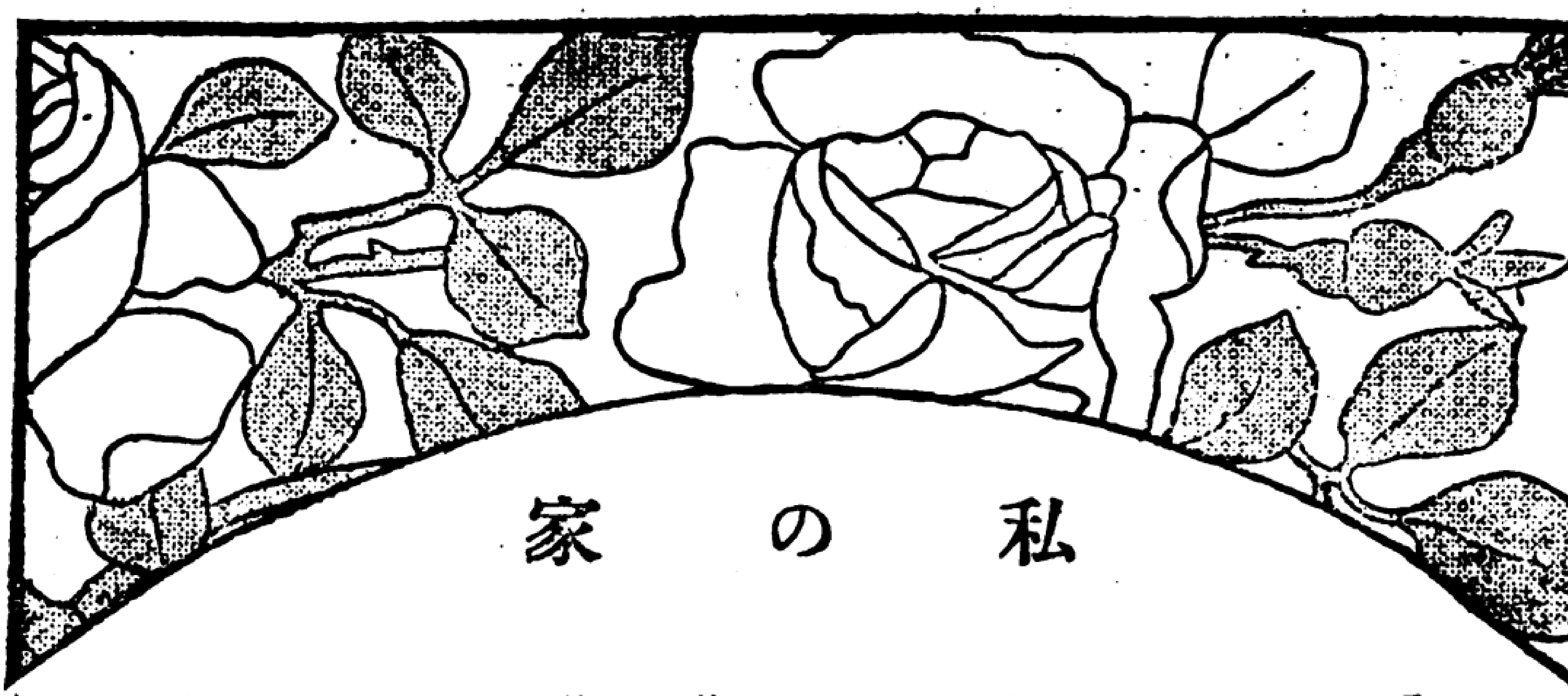
その他

×

農民組合、プロレタリア教員、それに起ちあがつた兒童（ピオニール）

農村の夜明けも近くなつた。

（九月三十日）



私の家

貧しい私の家は小さくて汚い
そして住んでゐる人間だつて
汚いものを着てゐる。
その上
それぞれに家を汚しまわる
主人と
妻と
子供とが。

なにゆえに
私の家はいくら片付けても
こんなに亂雜なのであらうかと
私は常に嘆くのだが。

しかし
この小さな家には二階がある。
それは考へ方によつては
何といふ面白いことであらうか。

例へば
私の家には二階があつても
彼女の家にはそれがない時には。

彼女とは何であらうか
それは
私以外のあらゆるコケットな
ブルジョア女のことである。

私は
貧しく、小さい、汚い私の家を愛する。
私は常にこの中で
來るべき我等の社會のための
仕事を進行させて行つてゐるのだから、
主人も
妻も
又、小さい私の子供も。

村山籌子

健康保持運動を起せ

奥むめお

この間の土曜日に國兒の第一回健康診斷をいたしました。開園式當日に全體の顏色や體格などを眺めてみて、みんな血色がよく健康さうなので安堵したことでしたが、診斷の結果に依ると、案外病氣もちの子供が多いさうでした。未だほんものゝ病氣にならぬ今の内に、親たちにも本人にもいろ〳〵と、必要な注意を敎へてゆきたいものであります。自分が健康だと思つてゐる人でも、診察してみると案外病氣の種子を持合せてゐる場合が多いやうであります。病氣を未然に見出すことは何より必要なことだと思ひます。

私どものセツルメントでは何よりも健康第一！それも病氣豫防と公衆衛生の方面に一番力を注いでやつてゆくことにしてをります。嬉しいことにはよいお醫者樣が私たちのこの願ひに共鳴して手傳つて下さることになつてをります。私たちはこのよいお醫者樣の指導の下に、みんなで、この方面のよい働き手になつてゆきたいと希つてゐます。

長い間私たちがうけて來た衛生方面の知識と云へば、病氣になつたらすぐに專門家であるお醫者樣にみて貰ふやうに、といふこと、それだけでありました。一にも、二にもお醫者樣に賴り切りであつたではないでせうか。この誤つた醫藥萬能觀が、未然に防ぐことの出來た病氣をも知らずに大病にしてしまひ、必要な豫防施設をもなほざりにして、どれ位そのために人の生命を奪つて來たことでせう。そして經濟的にも苦しい上にも苦しく貧しい生活に私たちを陷し入れて來ました。全く、いくら精出して働いても、やつとの思ひで貯めた細々の貯金は、稀に、たつた一度家族の誰かゞ病氣に罹るだけですつかり吐き出してしまひ、剩さへ、ムりな借金まで。

拂へて全快後はまた、その借金拂ひのためにムリをつゞけるといふのが普通であります。

　横濱ドックに働く數千の勞働者の手で組織されてゐる工信信用組合では、借り出す金子の九割までが家族の病氣や不幸又は出産に要するためださうですが、働いて積立てた折角の金子がみす／＼營利的な開業醫に搾りとられてしまふのが餘りにいま／＼しいからといふので、組合の力でよい醫者をもち、醫療萬般から健康上のいろんな相談を親切にうけられるやうにと目下立案中だと聞いてゐます。この必要は獨り工信の組合ばかりでなく恐くは、無産者の全てが等しく痛感してゐる處でありませう。

　緊縮とか、消費經濟生活の合理化とか、この頃經濟方面に大分女の關心が、動いて來たやうですが、多くは二錢三錢の儉約に血眼になることとか、三つのものを二つに我慢して出づるを制する位が精々の姑息なものであることを私は不安に思つてをります。ほんとうに私たちの消費生活を合理化するためには、即ち、買ひ物は消費者が組合つて共同仕入れをする消費組合の確立へゆかねばならぬと思ひますが、一方、合理化して生み出した金子をまた非合理的にも、營利商人と何等えらぶ處なき醫者や産婆や藥劑師にぼられてやつと、私たちの健康を維持してゆくやうなことでは何にもならぬと思ひます。

　病氣のときや健康上の心得などは、ぜひ營利を目的とする商人のやうな醫者にぼられることのないやうに、疾病組合や健康保險組合の組織を固めてゆきたいものであります。統計によるとわが邦では開業醫が四八、八〇四人看護婦が六八、六二七人藥劑師が一八、三六六人齒科醫師一五、五七三産婆が四八、三九九人あんま鍼灸師、外に漢方醫や物理療法ベニ療法精神療法その他醫者まがゐの商賣をしてゐる者の總數は餘程おびたゞしいものになるでありませうが、概して彼等は一般のものに比べては堂々と門戸を張り、相當ゼイタクな生活をしてゐるのが普通であります。これらの多勢の者の而も相當に裕福な生活を保證すべき莫大な經費はとりも直さず患者が財布をさかさに振つて支拂つた醫藥代謝禮の結晶に外ならないことは云ふまでもありません。そして拂ふべき金子のない者はみす／＼聽診器と醫藥を前にして診て貰ふことが出來ず、必要な注意を聞くことが出來ないのであります。これは何といつてもつり合ひが合は無さすぎます。

この頃新聞紙などは論調をそろへて醫者の暴利を糺彈してをります。やつと世人がこの不合理にめざめて、われ〳〵の健康の保證を、營利的な醫者や產婆に賴らず、社會的機關を確立しなければならないと叫び出して來たのは何より力強いことだと思ひますが、それにしてもそんな理想の社會が實現するのは未だ、あした、あさつての將來に繫ぐ希望であるのですから、さしあたり私たちに出來ることから初めるとすれば、健康方面のよい相談相手になる人を澤山に社會に送り出して働いて貰つて、病氣豫防の知識を普及させると同時に、社會全般に互つて健康保持のための公衆衛生施設を實現させてゆくやうに計つてゆくことでありませう。

今日の女醫學校や產婆看護婦學校で、開業して金をもうけることに熱心な生徒ばかりを養成してゐることに不滿な當セツルメントでは、金儲けだけを目的としないよい醫者、よい產婆、よい看護婦の協力者を求めて、社會衛生の立場から、必要な指導者となり、提案者となり、看護者となつて協同愛の喜びのうちにお互ひの健康を守つてゆきたいと思ふのであります。

內務省調査によると、日本全國で開業醫なき町村が二、九〇九ケ所、產婆なき町村が三、六一一ケ所あるとの事です。都會に於ては、軒を並べて同じやうな開業醫が堂々門戶を張つて患者の奪ひ合ひをしてゐるので、俄かに病人など出た場合には、どれが最も信賴出來る醫者か？その選擇に迷ふ程であるのに比べて、何といふかたみ恨みでありませう。これらは、多く、非文化的な田舍を嫌ふ心と同時に大した金儲けにはなりさうにもない貧乏な田舍者相手の商賣をきらふ醫者が多いことの證據でありませう。全く今日の農村や漁村は殆ど醫藥から見離されて衛生的注意が行はれてをりません。さき立つてそのために働く人がないからであります。

從つて農村や漁村に於てこそよい醫者を先達として、健康保持の運動を捲き起す必要があります。いろんな相談を親切にうけ入れる專門醫、衛生訪問婦、學校看護婦など、今日でもさうした仕事に携つてゐる人の數は相當に多いのですが、形そなはつて內容伴はざるの怨みが深いのです、働いてゆきたい仕事は山程あるのですから、はつきりした認識に立つよい人々を作つてゆくことが必要であります。都會に於ても農村に於ても公衆衛生施設の普及徹底と健康保持の運動を勇敢に進めてゆきたいものであります。

東洋モスリン争議の一斷面

屏と云ふ屏、窓と云ふ窓、工場の壁等にアヂビラが勇敢に張られてゐる。工場の内部も、到るところに桃色、黄色に色取られてゐる。

指令一下運動を止めろ！　の文字が工場の中央、或は職長の室まで大々的に貼られてゐる。

九月廿六日の組合代表芽野氏と會社側代表酒井氏との會見は、從業員側で解雇人員數の點で意見が合はず物分れとなつた。二十七日の朝は、大部分の人が朝から出勤せず、遅れて正午に『指令一下運動を止めろ』の命令が出たさうだ。ところが『指令一下』の結果は新聞を見ても餘り香ばしくなかつた様だが、兎に角幹部の顔も潰さずに物々しい争議は龜戸の一角に起つた。

日が經つ中に組合内部に不平の聲が起つたと思つたら、刷新派の運動が起つてきた。過日の組合合同大會で、望月氏擁護派と排斥派との採決の結果が一票の違ひとか十一票の違ひとかで、望月氏が組合長になつたとか云ふ譯ださうだ。

九月廿九日の朝、第一工場の寄宿の女工さん達が勞働歌を高唱したのであつた。處が何を血迷ひしたか、外を警戒中の巡査廿五名ばかりが男絶對禁制の寄宿舎に入り込んだ。そして事もあらうに、女工さん相手に×劍して切りつけ、それぱかりではなく中には女工さん達の××を××だり、或は××××したりした。當日の午後聞いた事なのだが、火の無い所に煙の立たないと同様、噂さのある所には事實が絶對に無かつたとは云へない。兎に角、争議團本部に女工さんが泣き込んで來た事は本當だ。負傷した女工さん達は、翌日、診斷書を持つて争議團員につれられて檢事局に告訴した。

三日、東京交通勞働組合の[illegible]氏が龜戸署からすつかり負傷して歸つて來た。之は一日の檢束の時には少しも負傷はしてゐなかつたさうだ。新聞は檢束された時に負傷したと報道してゐる。然し當人は龜戸警察署で調書を取られる時、××でやたらに××××たと云つてゐる。新聞の報道と當人の話と、いづれが本當か、嘘かは知らない。然し五日に檢事局に全治四週間の診斷書と共に龜戸署長を告訴した事は本當だ。

また三十日の夜は國勢調査員が龜戸町の暴徒調査しての歸途巡査數名で、有無を云はせずに××つたとか、これも檢事局へ告訴。——これらの告訴の結果が知りたいものだ。法律はどんな都合になつてゐるかも

知れないが、こんな事をされて、檢事局が以下（三十七字さく除）かも知れない。

これら巡査の行動は少なくとも×××のやる事としか思はれない。これが人民保護？　の警察ださうだ。元來警察は不穩の行動を取締る機關ださうだ。然し不穩の行動をとるものは、爭議團ではなくて五百人からの人々を、食から離れさせるところの資本家ではないだらうか、して見ると警察機關は資本家を取締るべきものと思はれる。

それが一向さうならない所を見ると、警察は資本家の××である事を明らかに物語つて居る。玆に注意しなければならないのは私達はあらゆる物に直接間接に税を取られてゐる。そしてそれらの（以下四十七字削除）に氣がつかなければならない。

十月二日の日には、恨ある會社の專務松浦の首が對策本部に冬瓜で作られ、棒が首の各所にさされて、欲ざらしになつてゐた下に『松浦の最後』と書かれてあつた。それが翌々日に寄附金箱と共になくなつてゐた。多分正義團が持つて行つたとの噂であつた。惡い事は皆正義團のせいである。ことごと左樣に正義團は操はれて居る。尤も會社から金をもらつて暴力を用ひる事は餘り正義でもないから、先づ名前に耻入つた方が良いだらう。此の正義團とか云ふ奴等が廿九日の町民大會で、追拂らはれる事になつたのは何んとも胸のすつとする話ではないか。それが一日になつても二日になつても會社の裏とか、何處とかに隱れてゐるとかの傳令が來るさうだが、何んて尻の重い野郎達かと呆れざるを得ない。それが先づ一頻り居なくなつたと思つたら、又々、五日頃に××と云ふ御用團が何時の間にか會社の事務所を占領してゐて、其の爲に六日の日にはデモが形成されて、會社の門前で警官と亂鬪となり警部補は××られ、帽子は飛んでしまつた。

一方爭議團の方では、應援團本部、對策情報部、人事部、宣傳部、官犬彈壓監視部救援部、等々が設けられ、先づ爭議としては完全無缺と云はねばならぬ。

紅の鉢卷、赤だすきの女工さん達の警備隊が到る處組織され、寄宿の窓からはメーデー歌が賑やかに起り、×旗が勇ましく大通りから見える。警官は要所々々をかため群集は追はれても追はれても集つた。新聞記者は右往左往し、寫眞班は走つた。犬が吠えた。二十名ばかりの女工さんのデモに三十名ばかりの巡査がついて歩いた。夜に入ると各所に演說會は開かれ、數ダースの警官はトラックで運ばれる。物々しい場面は展開される。そして何處かで奇聲が上ると警官の劍音が街角に響く。東京モスリン工場から應援にきた女工さん達が、加藤勘十氏引卒のものと、メーデー歌を高唱し乍ら行くと、各本部から應援の拍手や共鳴が起る。巡査が四五十人走つて行く。五ノ橋通りへ右折龜戸署附近を通つた時に例によつて檢束された。傳令が本部に告げられると檢束者奪還の五十名計りのデモが行く。これが又八名ばかりの檢束、そこで總動員で檢束者を奪還に行くと、これが又二十數名の檢束となつた。物見高い町内は忽ち人の山を築いた。そして口々に官憲の不當を叫んでゐたらしかつた。こんな事が民衆に反感を持たせる最良藥になつてゐるのかも知れない。

少年運動と兒童文學

槇本楠郎

一、對立し鬪爭する二つの階級

階級社會にあつては、何事も何物も、悉く對立する。卽ち金持を代表するブルジョア側と、貧乏人を代表するプロレタリア側との「階級的對立」である。何故かう事毎に「對立」するのであるか？　それはかういふ譯である。

ブルジョア階級は、經濟的にはプロレタリア階級を××する階級であり、政治的にはプロレタリア階級を支配する階級である。何故さういふ事が云はれるかといふと、現在の社會では、ブルジョア階級は一切の生産機關を私有してゐるが、プロレタリア階級は手と身の裸一貫で、勞働力以外には何んにも持つてゐない。だからプロレタリア階級は、自分がこの世の中で生きて行くためには、厭でも應でもブルジョア階級の生産機關に傭はれ、身賣りしなければならない。この「傭はれ」「身賣り」することによつて、先づ最初の「搾取關係」が生じて來る。つまり雇主や使用者は、さうする事によつて、「頭をはね」、「かすりを取り」、「不勞利得をせしめる」のである。そしてこの「搾取關係」――「頭をはね」、「かすりを取り」「不勞利得をせしめる」ことを合理化し、圓滑に、完全に、全般的に、永續的にやる爲に、彼等ブルジョア階級は自分の支配に好都合な、色々の政治上の機構を考案し、組織し、構成する。これが資本主義社會の機構であり、階級社會の現實である。

だがプロレタリア階級も、いつまでも「盲目」や「馬鹿」ではゐない。彼等はプロレタリア階級獨自の科學的な、戰鬪的な意識を昂揚し、大衆的團結の力をもつて、巧妙で堅固にでつち上げられてゐるブルジョア社會の凡ゆる組織・機構に、大

膽にも正面的突撃を加へて行く。これが階級鬪爭であつて、大體にこれを三分野に分けられる。第一は政治鬪爭、第二は經濟鬪爭、第三は文化鬪爭である。だがこの三つは、恒に互ひに密接な關係を保ち、截然と區別されるものではない。目的は一つである。

　では「少年運動」とは、「兒童文學」とは、如何なるものであるか？そしてこれ等はブルジョアのそれと、プロレタリアのそれとは、如何に相違するか？

二、階級社會に於ける「少年運動」

「少年運動」は、一般的には文化機關の一つのやうに觀られてゐる。だがこれは支配階級の巧妙な欺瞞であつて、その實「政治機關」の一つである。支配階級たるブルジョアが自分たちの造つた社會秩序を保ち、自分達がいつまでもプロレタリアやその他の階級を圓滑に支配して行く爲には、被支配階級の兒童を早くから自分達の「支配に適した國民」に養成して置く必要がある。つまり彼等支配階級の命令通りに動かせるやうな人間に造つて置かなければならぬ。小學校だけの敎育では不充分である。そこで考へ出されたのが「青年訓練所」や「處女會」と共に考案された「少年團」(または「少年會」)であるこの「少年團」は少年運動の統一的機關で、これは大體に國際的なブルジョア少年運動の總本山たる「ボーイ・スカウト」の主義・綱領を、更に巧に潤飾して主義・綱領としてゐるに過ぎない。

　左に「ボーイ・スカウト」の「一般原則」中の「第一條・目的」の大要を掲げて見よう。

「本協會の目的は少年の品性を整へ――觀察・從順及び自己信頼の慣習を養ひ――忠誠及び同情の德を高め、公衆に對する有用なる奉仕及び自己に對して有用なる技術を敎へ――身體の發達と衞生とを增進し――以て少年の間に善良なる市民としての德性を向上せしむることにある。」

　これが「目的」の總則である。更に細則としては「名簿登錄に際して、スカウトは次の誓約をなす。」といふ「誓約の內容」を觀ることが必要である。それは、次の如く書かされるのである。

「私は私の名譽にかけ全力を盡して左の三條をなすことを約す。

一、神と皇帝に對して自己の義務を盡すこと。

二、常に他人を助けること。

三、スカウトの掟を尊奉すること。」

「スカウトの掟」は次のやうなものである。

1、スカウトは君に對し、國家に對し、役員に對し、兩親に對し、傭主に對し、又、目下の者に對して忠誠である。

2、スカウトは凡ての人々の友達であり、他の凡てのスカウトの兄弟である。それが如何なる社會的階級に屬すとも。

3、スカウトは兩親及び班長或は隊長の命令には異議を云はず從ふ。

4、スカウトは凡ての困難の下にあつても微笑して口笛を吹く。

以上はその大要に過ぎない。けれどこれだけを見ても、それが如何にブルジョア的であるか、またそれ自身に矛盾があるかが窺はれるであらう。例へばプロレタリアの思想では、「神」や「宗教的觀念」を否定する。また(1)(2)に於て頻りに超階級的公正なる存在の如く見せかけてゐるが、例へばストライキや小作爭議が勃發した場合はどうか？この春の東京市電爭議の場合に、日本のボーイ・スカウトの理事とか何とかの三島某の如きは、某新聞で苦しさうな辯護をしてゐるきりだつたではないか。(3)の場合の、兩親對班長・隊長の問題は、階級的相違によつて明白に對立を示すし、(4)の如きもプロレタリア兒童に強いる事は「盲目になれ」「從順な奴隷になれ」と云ふ事以外の何ものでもない。

三、階級社會に於ける「兒童文學」

「兒童文學」にあつては、一層超階級的色彩が高唱された。文學・藝術は「文化の華」であるから――と云ふ觀方の爲である。だが文學・藝術も、熱病患者のうわごとや狂人のたわごとではない。どちらかと云ふと一般人より理智的な人間の生産した、知識的所産である。第一、藝術そのものは「知識的統制」と「藝術的整理」とがなくては、決して生産されるものでなく、知識的藝術的統制と整理とは、必然的に作家自身の智的、道德的、信仰的、科學的乃至人生的の態度を決定させられる。だから作家がハツキリ意識するとしないとに關らず作家自身の觀念乃至イデオロギー・思想等々を表現し、表現の結果は善かれ惡かれ、また大小・強弱・深淺の差こそあれ、作家自身の觀念なりイデオロギーなり思想なりを、讀者に傳へる――「煽動」「宣傳」するのである。だから彼等が如何に兒童文學の「超階級性」を高唱し、藝術の「煽動・宣傳性」を否定しても、それは「耳を掩ふて鈴を盜む」のたぐひで、認識不足

の憫むべき醜態に外ならない。即ち既成兒童文學――ブルジョア乃至小ブルジョア兒童文學の標語は「天眞に還れ！」であつたが、彼等は「天眞」の美名の下に、兒童を永遠に「無智な奴隷」「從順な奴隷」に養成しようとし、また養成したのであつた。それは支配階級の「少年運動」の一翼を分擔するものでその線に沿つてゐる事は今更説明するまでもない事である。

四、プロレタリア階級側の「少年運動」と「兒童文學」

これに對立して、プロレタリア階級側の「少年運動」が起り「兒童文學」が發達した。我國では一九二六年六月に、初めて「無產者新聞」に「コドモのせかい」欄が設けられ、所謂プロレタリア童話が發表された。これは當時新潟縣木崎村で小作爭議が激化し、農民たちは階級的小學校を設立しようとし、爭議兒童七百名は村の小學校を總退學してゐた爲に、俄にその必要を認められた爲であつた。その後階級運動の盛衰に伴つて、プロレタリア少年運動も兒童文學も盛衰浮沈はあつたが漸次二つは結びつき、今では强大とは云へないにしても確固不拔の根を下し、刻々に擴大强化しつつある。

プロレタリア少年運動は、昨今屢々ブルジョア新聞にさへ現はれる所謂「ピオニール」、「赤色少年團」、「勞農少年團」等の名で呼ばれるものがそれで、まだ全國的統一的指導下に置かれてはゐない。然し多分に社會民主々義的色彩はあるにしても、それが漸次國際的プロレタリア少年運動の指導精神の下に統一され、ヨリ左翼化しつつある事は認められる。現在のところでは左翼農民組合の確立した地盤が主であるが、今に工場地帶にも漁村にも組織されるであらう。その氣運は濃厚に動きつつある。その運動が何を目的とするかは、ブルジョアのそれに對立して勃興したものである事を知れば、敢て説明する必要はあるまい。未來の階級力は、ブルジョアにしろプロレタリアにしろ、少年の組織力によつて決定するのだ。

プロレタリア兒童文學はその運動に積極的に參加する。彼等支配階級的兒童文學が「天眞」の美名の下に、兒童の社會意識・階級意識を眠らせようとするに反し、これは眼覺めさせる事を主眼とする。詳細は別の機會に述べるが、とにかく吾吾は吾々の子供を、敵の手に奪はれて骨拔きにされてはならないのである。

（一九三〇・一〇・七）



童話

水神の花嫁

この童話は、ドイツの「ローテ、ファーネ」誌に掲載されたプロレタリア童話です。作者はわかりませんが、「古い支那の童話」と云ふことです。（槇本楠郎）

支那の七國時代に、黄河のほとりに、石明侯といふ代官が住んでゐました。その地方では、水神が大へん尊ばれてゐて、土地の魔法使や巫女さんたちは、かう云つてゐました。

「水の神様は、毎年一人づつの娘さんと、結婚をしたがつてゐらつしやいまする。で私たちは、その娘さんを探し出して、水の神様に差し上げねばなりませんぞ。もし、それを怠りましたら、私たちが雨や風のほしい時にも、雨や風を下さらずに、大水が出たり、不作が續きますぞ。」

そして、金持の家に年頃の娘がゐると、魔法使たちは、この娘さんこそ水神のお嫁さんに選ばれる方だ、と云ふのでした。兩親たちは、どうかして娘をやるまいとして澤山の金を出して、魔法使たちを金で、抱きこむのでした。すると魔法使たちは、云はれる通りになつて、金持にうんと金を出させ、河に投げ込む貧乏人の娘を買つて來させるのでした。そして娘を買つた殘りの金を、みんなで儲けるのでした。けれど、

金を出さうとしない人の娘は、水神の花嫁にきめられ、いやおう無しに、魔法使の持つて行く婚禮の贈物を、どうでも、かうでも受取らせられました。この地方の人たちは、この習慣で、ひどく苦しめられてゐました、

石明侯は、代官になつた時に、この惡い習慣を聞いて、魔法使たちを呼び寄せ、そしてから云ひました。

「水神の婚禮のある時は、是非私に知らしてほしい。私は水神に敬意を表するために、列席したいのだ。さうすれば、水神はおよろこびになり、その代りに、人民に惠を垂れ給ふだらう。」

そして魔法使たちを歸らせました。魔法使たちは、しきりに彼の信心深いことを、ほめそやしました。

やがて、その時がやつて來ました。魔法使たちは、その事を知らせました。そこで石明侯は禮服をつけ、車に乘つて、立派な行列をつくつて、河の方へやつて來ました。

土地の代表者や、魔法使や、巫女さんたちが、すつかり集まりました。男も女も子供も年寄も、この悲しい場面を見ようと、遠方からやつて來ました。魔法使は、水神の花嫁に婚禮服を着飾らせ、安樂椅子に坐らせました。鼓や太鼓や樂しげな音樂が、しきりに鳴りひびきました。

魔法使や巫女たちは、もうすぐ、花嫁の椅子を河に投げ込まうとするところでした。娘の兩親は、涙にぬれて別れを告げました。と、その時、石明侯はやめろ、と命令しました。そしてから云ひました。

「そんなに急ぐことはない！　この婚禮は相當立派にしなければならないので、私は花嫁にお伴をつけようと思つてやつて來たのだ。初めに水神の城へ、誰かが行つて報せ、水神自身に、花嫁を迎へに來させるのだ。」

この言葉と一しよに、彼は一人の巫女を眺め「お前行つて來い！」と云ひました。が巫女は尻込みしました。そこで彼は、家來に命じて巫女を引つ捕え、河の中にほうり込ませました。そして、ほぼ一時間ばかりが、かうして過ぎ去りました。

「あの女は、仕事がよくわからないんだ。」と石明侯は云ひました。「でなければ、もうとツくに歸つて來てもいい筈だ。」そして彼は、一人の魔法使を見て附け加へました。「お前行つて、もつと旨くやつて來い！」すると魔法使は、青くなつて怖がりましたが、石明侯は彼も引つ捕へて、河の中に投げ

込ませました。そして又、半時間たちました。

そこで彼は、不安な樣子をして、かう云ひました。

「二人とも、仕事を旨くやれず、花嫁に待ち呆けを食はしてしまつた。」そして、も一度一人の魔法使の方を見て「樣子を見に、お前行つて來い！」と云ひました。

魔法使は地べたに坐つて、どうぞお許し下さいと願ひました。すると大勢の魔法使や巫女たちも、次々に彼の前に土下坐を組んで、平あやまりに、あやまりました。そして彼等はこれから後は、決して水神の花嫁を探し出すやうなことはしませんと、固く誓ひを立てました。そこで石明侯は、今日の婚禮騒ぎを打ち切つて、娘を家へ送り歸してやりました。

この儀式は、それきり永久になくなつてしまひました。

（をはり）

富士辰馬譯
アメリカは如何に日本と戰ふか？　一・二〇

向坂逸郎、鳥海篤助譯
インテリゲンチャ　一・五〇

田口運藏著
赤い廣場を横ぎる　一・三〇

早坂二郎譯
國際スパイ戰　一・二〇

楢　六郎著
中小商農業者は沒落か？更生か？　一・六〇

田中純譯
アメリカの悲劇　一・八〇

ア・コロンタイ著
赤い戀　一・〇〇

ア・コロンタイ著
三代の戀（戀愛の道）　・四〇

ア・コロンタイ著
偉大な戀　・六〇

ア・コロンタイ著
戀愛と新道德　・八〇

グレゴリーフ著
ソビエト女教師日記　一・五〇

オグニヨフ著
ソビエト學生日記　一・〇〇

コロンタイ女史著
グレート・ラヴ　一・〇〇

マルグリット著
戀愛無政府　一・五〇

小泉鐵著
性的解放時代　一・二〇

ヘルンレ著
プロレタリヤ教育の根本問題　・九〇

ロマノフ著
愛する權利　・八〇

セムコフスキー編
マルクス學教科書（一―四各册一圓）

アゴル編
マルクス主義ABC　・五〇

★以上本社事業部（振替・東京六四一六〇）取次

編輯後記

○

今月は主として、無產少年少女の教育の問題に就いて考へて見ることにした。來るべき時代を背負つて立つ年若い人達、ことに子供達を、どう教育すればいゝか、從來行はれて來た教育はどう改めねばならないか。かう云ふ問題は誰の心をも占めてゐる最も重大な、と同時に、最もむづかしい問題だらうと思ひます。

○

無產少年團、無產小學校の現出は、何を意味するでせうか。我々は常に正しい見通しのもとに、眞の教育――プロレタリアのために役立つ教育を行つて行かねばならない。

○

不景氣はいよ〳〵深刻化して來た。今に、今に、と空しい望みをかけてゐた人達も、この不景氣が今迄のそれのやうに簡單に片づく現象ではないと漸く氣がつき始めた。では一體この不景氣の原因は何處にあるのか。どうすればその原因をのぞくことが出來るか。世界各國の經濟の狀態はどんな風か。さういふ數々の疑問に對して大塚氏は「世界恐慌は長びく」と云ふ論文で明確に我々の知らねばならぬことを教へてくだすつた。

○

また農村の問題に關しては[illegible]瀬氏が親切な指導者の役を引きうけてくだすつた。我々がこれによつて學び得る所は非常に大きい。

○

その他の記事もくりかへして讀んでいたゞきたい。織田氏はかつて農村に教師をしてゐられた方、槇本氏は現在プロレタリア少年文學運動の爲に熱心に働いてゐられる方。その他の執筆者も殆んどすべて實際運動に從事してゐられる方々です。

○

讀者の皆樣の中には必ず無產少年少女の教育問題に就いてもよき意見を持つてゐられる方が多いと信じます。ことに學校につとめてゐられる方々はこの際御自分の經驗に基いて御意見なり抱負なりをおもらし下さい。出來れば一まとめにして今後の誌上に發表したいと思ひます。（四百字原稿紙で四枚迄）

○

高橋氏、原澤氏、その他せつかく原稿いたゞきながら、紙面の都合で掲載することが出來なくなり、非常に殘念に思ひます。來月號に發表したいと思ひます。

○

それから、讀者の方々からも小說その他お送り下すつてうれしく拜見しました。これも紙面の都合で長いものはのせられませんでした。然しいたゞいたものは折をみて出來るだけ發表したいと思ひます。どうぞどし〳〵感想や批評を送つて下さい。

本誌に對する希望も遠慮なく言つて下さると大變ありがたく存じます。（大石）

昭和五年十月二十日納本
昭和五年十一月一日發行

◇誌代はすべて前納にして下さい

誌	代
壹部	貳拾錢（郵税一錢）
半年分	一圓二十錢
壹年分	貳圓二十錢

編輯發行兼印刷人 奥梅尾
東京市本所區林町二ノ七八
職業婦人社
振替東京六四一六〇番

エス・セムコフスキー編　マルクス書房譯　全四册各册壹圓　送各六錢

マルクス學教科書

第一卷　社會進化の鐵則
第二卷　史的唯物論
　　　　史的唯物論の例證
第三卷　自由と必然
　　　　辯證法、辯證的唯物論
第四卷　世界觀としてのマルキシズム

近刊

イ・アゴル編　茂野淸治譯

マルクス主義のＡＢＣ

定價 50 錢
送料 4 錢

第一編哲學　第二編經濟學　第三編社會主義、空想的社會主義から科學的社會主義への三編に分つてマルクス主義の基礎を說いたもの、入門書として絕好

靑木惠一著

マルクス主義農民問題講話

定價 1 圓
送料 8 錢

靑木氏が日本の左翼農民運動に於いて重要な地位を占める人である事は既に諸君の知る所である。氏が心血をそゝいだ本書によつて學べ!!

短歌前衛社編（一九三〇年版）

プロレタリア短歌集

定價 40 錢
送料 4 錢

書房が受けた大打擊のため發行遲延して諸君にすまぬ、今度こそ出る。九月には諸君の手にとどくであらう。

東京市小石川區小日向台町一ノ一五　マルクス書房
振替東京三三九八　電話小石川一六一五

産兒制限器具（さんじせいげんきぐ）

100%的

社會民衆黨東京市會議員
東京市社會局囑託
ドクトル 馬島 僴氏談



婦人用の避姙用具は、實に多種多樣であるが、嚴密な醫學上の立場から見てその多くは甚だ效果の疑はしいものである。

たゞイギリスで專ら用ひられてゐる子宮キヤツプと、オランダでひろく認められて居る膣奥閉塞膜（ペツサリー）の二種は、現今醫學が教へる範圍での最も理想に近いものと云へる。

しかし私の經驗で、イギリス型は一々醫師が取扱はないと屢々失敗の虞れがある。これに反してオランダ型は、素人が自ら極めて簡單に用ひられて、未だ失敗の例も見出さない。私は主としてオランダ型を採用して來た。

だが輸入品は、とかく高價なので、日本に於てよきオランダ流のものを製作し度いと考へ、小柳ゴム製作所に依頼して、特に私の長い間の經驗から得た考案を、注意深く加へて製作したのが卽ち今回發表された本品である。

滿足なるこの製品を得るまでには可なりの長い時日を費した。醫師としての責任上私はたとへどんな小さな缺點でも容認する事は出來なかつた。私は樣々な製作過程によつて製作された試作品を數十回に亘つて一々嚴密な實驗をして見ねばならなかつた。此の間小柳氏の驚く可き熱心さとうむ事なき努力とは私のうるさい注文や注意を一々充分に研究し工夫し次から次と夥しい試作品を提供してくれた。か樣にして遂に今日發賣される物の樣な極めて滿足な製品に迄到達したのであつた。

ゴムの性質は勿論、ワクの太さ、彈力の度合、その取り付け方など主要部分の出來上りは外國品に優るとも斷じて劣るものでない事は、私が證明し得る。敢て私から一般大衆におすゝめする次第である。

馬島式ダッチペッサリーの臨床的效果

愛兒女性協會女醫 尾崎豐子氏談

專門的に、每日澤山の御婦人達の避姙に關する御相談を受けてゐますが、日本婦人が、在來の習慣的又は風習的な道德觀から失禮でございますが性問題に對してあまりにも隱蔽的であり、無智であります爲、とんだ操作によつて恐ろしい危險を招かれた方が隨分多い樣でございます。

で私は「誰もが手輕に何等の危險なく、完全に目的を達し得られる物」として誰方にも先づ馬島式「ダッチペッサリー」をお勸めします。生理的にも心理的にも寔に申分がなくて、今日迄まだ一度も、不都合や不滿足や失敗やのお小言を受けたことがございません。外國品に優る小柳製の改良型が出來ましたから、日本人にピッタリと合ふ理想品がお安く手に入る樣になりまして大變喜んでをります。

マジマ
ダッチペッサリー



決定的な優秀點

◆素人自ら手輕に使へる
◆絕對的なその效果
◆少しも不快を覺えない
◆自他共に使用感がない
◆永く使へて經濟的

ドクトル馬島僴氏改良
マジマ ダッチペッサリー

▼詳細な使用法付說明書進呈

このペッサリーは第五回產兒制限國際會議に於ける醫師部會に出席せられた多數によつて、支持せられたもので、且つ和蘭政府公認、產兒制限相談所では、本品を四十年來推奬使用して好成績を擧げて居ります。その他英國に於ける新マルサス聯盟も本品を推奬してゐます。

定價
- 小形（未產婦用）一圓五十錢
- 大形（經產婦用）一圓五十錢
- 送料各十二錢

勤勞階級大衆の爲、組合團體の御註文は特に割引申し上げる規定があります。

ドクトル馬島僴氏改良
馬島式婦人衞生器（別名馬島式子宮洗滌器）

本品は英國型を更に改良して臥床のまゝ洗滌し得る最新式の物

▲定價 二圓五十錢 送料十二錢

小柳式婦人衞生器（別名小柳式子宮洗滌器）

最も簡短によく洗滌し得られる特徵を持つて居ります。

▲定價 一圓 送料十二錢

◉馬島式のダッチペッサリーと共に、右のいづれかの婦人衞生器を御併用になれば、一層確實性を增大することが出來ます

東京市神田區連雀町
小柳ゴム製作所
神田郵便局前通り
電話神田局二六三八番
振替東京六五一三八番

職業婦人社代理部
振替東京六四一六〇番


品質日本一
ヤマサ醤油
醤油はヤマサ時代!!
秋です
味覺の秋です
宮内省御用達
ヤマサ醤油株式會社

大正十三年十一月二十二日 第三種郵便物認可
昭和五年十月二十日 印刷納本
昭和五年十一月一日發行（毎月一回・一日發行）

婦人運動 第八卷 第九號



定價二十錢

婦人セツルメント

いよ〳〵婦人セツルメントの仕事が開始されました。私たちのセツルメントとは、婦人が協同して働いてゆく『家』であります。この『家』に、いろ〳〵の才能を持つた婦人が來て何か近隣のためになる仕事をしてゆくのであります働く私たちの仲間も、仕事をしてゆく内にいろ〳〵と教へられることが多い筈ですし、又、協同して澤山の人が一緒に働くといふことそれだけでも、私たちにとつてよい修養になります。

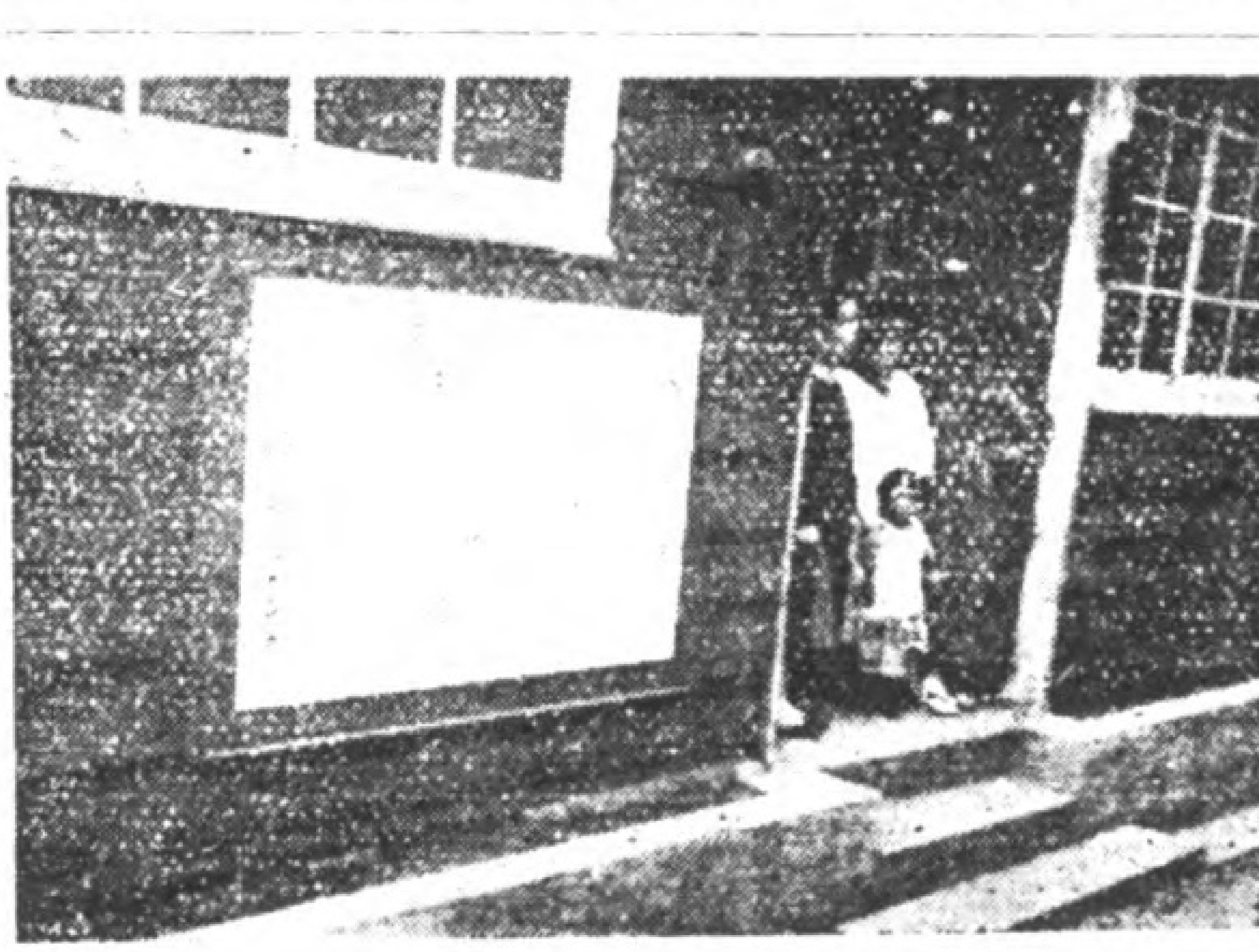
この『家』はいろんな人に役立つてゆきたいと思つてゐます。幼なき子供のために保育園があり、小學兒童のためにおさらひ會と日曜學校、娘たち及び一般婦人のために夜學校と各科の講習會又、健康相談所や姙娠調節相談所もあります。みんな、金儲けを拔きにしてまじめに、親切に、お役に立つやうに働いてゆかうとしてゐるよい仲間ですから、一度でも來てみて下されば、知り合ひになつて宜かつた、と、どちらもきつと喜んで、頂けるに違いないのですどうぞ皆さんで『われ〳〵の協同の家』をどし〳〵利用して下さいませ。

なほ、この家で働いて下さる協力者をもつと澤山に求めてゐます。

協力者が多くなる程よい仕事を澤山にやつてゆけるからです。

階下

林町保育園
保育室
圖書閲覽室
おさらい會教場
炊事場
お砂遊び場



階上

母子健康相談所
姙娠調節相談所
夜間女學校教室
職業婦人社事務所
婦人消費組合協會供給部



これは託兒所の一部です。あてもの遊びをしてゐます。立つてゐられるのが船竹先生座つてゐられるのが田中先生木田木工所寄附のブランコとすべり臺と椅子と机とが毎日子供を喜ばせてくれます。

保育園だより



十月一日から愈々託兒所が初まりました。林町保育園と申します。子供たちは『學校へ行くんだ』といふ嬉しさで、べんとう箱と草履袋を枕元に並べて容易に眠られなんだ、と云つて親御さんたちも隠しきれぬ喜びを顔一めんに溢へてゐらつしやいました。

先生からお名前を呼ばれたとき、みんな元氣な聲で『ハーイ』と御返事が出來ました。『中々丈夫さうだ、健康狀態は申分がなささうだ』とこの託兒所のお醫者様の原澤先生が賞めて下さいました。朝七時より三時じまひ。午前十一時半に中食で、二時半におやつです。六時半頃から『先生お早やう』とやつて來る子があります。第一日のお土産が紅白の祝餅と『こどもの友』とワシミルク小鑵一つ宛。第三日が花かご、第五日が折紙製てふちん、大きい組を白組として田中先生の受持ち、小さい組を紅組として船竹先生受持、どちらもお聲の美しいよい先生です。それに手工や繪のお上手な大橋先生がゐらつしやいます。

この託兒所の特長を、健康第一！におきます。病氣にかゝらぬ内の用心第一にいたしませう。子供に病氣の種子が宿つてゐませんか。子供の食

◆寄贈芳名◆

開園にあたり、次のやうに色々と御寄附いたゞきました、こゝに謝意を表します。



小尾芳枝氏	參拾圓也
宮川次郎氏	貳拾圓也
無名氏	貳圓也
村木ちか子氏	オルガン
佐野すゞ氏	オルガン
丸山千代子氏	ニユームお盆(二)
千葉とみ子氏	五圓也
大橋八郎氏	五圓也
橋本たか子氏	拾圓也
松本幸子氏	二拾圓也
湯本かつ子氏	五圓也
佐々木英子氏	拾圓也
宮田修氏	拾圓也
古野淑子氏	蒲團綿と珈琲一鑵
小島幾惠氏	盆三枚と菓子二箱
大石梅子氏	茶一鑵
木田重治氏	スベリ臺一個とブランコ二臺と椅子机五十人分
松屋呉服店氏	手拭五十筋
發賣本舖	ワシミルク百鑵
婦人の友社	コドモノ友百册

べるものに好ききらいが多いことは身體を弱くする元ですあひだ食ひはやめさせませう虫齒トラホームはすぐに手あてをして直しませう。何よりも、戸外の土を踏んでピンピン跳ねて遊ぶことです。ちよつと手數が掛つて大變ですけれど、成べく外へつれ出す方針でゐます。

家庭と園をつなぐ訪問婦制度を實施して、兩親と先生とが、心を合せて衛生上の注意を進めてゆくやうにしたいと思つてゐますから、みんなで理想的にやつてみたいものです。

この園のために特別に診察に來て下さる先生がた――。

一般健康診斷（土曜日午後）　主任醫　原澤先生

齒科（土曜午前）茂木先生

眼科（同　）兒玉先生

外にお母様お姉様方のための婦人科醫もお出で下さいますから利用して下さい。（妊娠調節についての御相談は日曜を除くほか毎日）

入園兒童は次の百名です。あと五十三名の申込みをうけてゐるのですが手狹のため保留してゐます。

近藤一郎、島津榮一郎、林正雄、渡邊又治、白山匡、關德壽、村上忠男、横山弘、大網梅太郎、清水正雄、小川勝人、五味利夫、松村和彦、武藤安郎、山田勝一、木村將、高村庄吉、堀川功、藤井清司、中村慶男、村田誠一、伊藤秀男、依田忠男、木村嘉男、伊藤イネ、岡島靜子、末本秀子、村上キミコ、内田貞子、隅田和子、青木シゲコ、淺野スエコ、行木靜枝、柿島アキノ、福光エミコ、河合順子、大澤時子、藤代照子、平松時子、石川桂子、澤井トシコ、石倉和子、角谷豊、酒井キミコ、坂田正子、牧野博子、松原恒子、小林清子、見留富代、岡田米子、沼尾はるゑ、田中みどり、飯田光、倉田カツエ、長澤照子、渡邊こう子、大久保信子、石川洋子、澤井ちよ子、久保田千代、角輪キヨ子、酒井キヌ子、依田澄子、内海キヨ子、五十幡きよ子、花瀬正子、長谷川敏子、松本松枝、佐々木和子、佐藤とし子、荒川ちさ子、兎見直子、海地豊、丸島政雄、平松勝、大橋誠一、水谷正行、矢内勇次、横山至、岡田敏夫、中村孝一、岩本照男、橋村正、伊澤實、嘉藤全彦、岡安和二三、内藤松吾、秋葉弘一、加藤美喜男、加藤一郎、東條榮一、伊藤甲子男、木村喜美男、宮崎良雄、松山和朋、島井芳天、夏目豊、小山祥一、小林富美、小林忠泰

保育園主任として御苦勞願つてゐました中島節子先生は残念なことでしたが都合により辭められました。代りに奥先生が主任。

疊六疊敷　三橋一郎氏
ペンキ塗一式　片岡勇次氏
大机一脚　廣瀬庫太郎氏
籐椅子一揃　生田花世氏
キヤラメル一罐　全購聯
果物大籠　無名氏
額椽一　熊澤專一郎氏
机三脚　本所區第一方面事務所
開園式裝飾一式　四恩セツルメント
八丈敷上敷　入江義次氏
障子紙　無名女氏

近隣の後援者たることを快諾して下さつた方々（開園式にあたり祝儀として金百圓也を頂きました）

野口吉照氏
湯澤謙三氏
木戸梅藏氏
鈴木文郎氏
三橋一郎氏
中田長四郎氏
瀧井秀次郎氏
荒井長次郎氏
卷島喜作氏
染谷友吉氏
新井善作氏
入江義治氏

（以下次號にて）

【職業婦人】【の】【家】【に】【就】【て】

私はかねて『職業婦人の家』を建てたいと思ひ、募金中でありますが、その『家』の代りに、この婦人セツルメントを初めたのではないといふことを、豫め御諒解願つておきたいと思ひます。

この本所の家は實は豫期せずして私に與へられた家で、そのために、永年來の私の念願であるところの『職業婦人の家』の建設は、しばらくあと廻しになるわけですが、とにかく私はこの婦人セツルメントの基礎が確立するやう、こゝに全力を傾注したいと思つてゐますから微力な私をどうぞ助けて下さい。然し、來るべき年に第二の婦人セツルメントを、特に『職業婦人の家』として持ちたいといふことをこの頃一層痛切に希つてゐますから、倍舊の支持と協力をお願ひしたうございます

それ迄このセツルメントの一部を一般職業婦人のために提供しますから、どなたでもどうぞ利用して下さい。

即ち、職業婦人諸氏のためにと配慮した圖書室と讀書室があります。健康相談所があります。（當分土曜日午後だけ）夜學講座も研究會もあります。狭い借間住ひをしてゐられる方々のために、お友達や故郷の親戚の方とゆつくり寢物語りをしたい、而し宿屋でボラれるのは困るといふやうな場合には喜んで快適な寢室と夜具を提供致します。

なほ『職業婦人の家』の資金は、募金半ばになつてゐますが、その内より金五百圓也を當婦人セツルメントに融通いたしましたから現在金は次のやうになつてゐます。併せてお含みおき下さいませ。早くこの金子を生かして、よい『家』を作りたいものであります。（むめお記）

姙娠調節………

の御相談は、決していかがはしい商賣人に掛らぬやう。當セツルメントで、責任を以て御指導いたします。近いお方は一度御來所あれ。遠い方のために、『避姙のをしへ』があります。一部送料共十二錢です。

職業婦人の家
——募金報告（8）

其後募金に應じて下さつた方々

加藤なをし(二)長井かれ子(七)榊原むめ子(五)二階堂清壽(五)清水節子、末武(二)玉井きよ、北村みよ(二)福久かしく(二)上原豊子(二)吉村廣(二)藤野みさを(二)竹内いと(二)勝木みどり(二)高尾美子、今村豊子(二)津川松尾(九)平松幸子、田中絢子(一、五)丸山一枝、市川花子、相川菊江、織田やす子(五)大島春江、渡部泰子、橋本千惠子、相樂とみ子、里子、山下里子、無名氏、榎本馬佐久(一〇)生田花世(五)箏曲朱絃舍(一〇)山崎房枝(五)安達榮司、近藤久雄、谷川繁、西澤傳、瀧澤志郎、西野いく(一〇)宮阪梅雄、福山哲雄、出口ゆき、堂昭俊盛、平林ふさの(五)大曾根淸子の諸氏

二二〇圓　無名氏より

計現在金高　三、二七一八五錢也

右の金額より、本所區に新設せる婦人セツルメントのために造作設備費として、金五〇〇圓也を支出。

差引現在高　**金二、七七一圓八五錢**

昭和五年十月廿八日印刷納本　昭和五年十一月一日發行　『婦人運動』第八卷第九號（附錄）　編輯發行印刷人　東京市本所區林町二ノ七八　職業婦人社　奥梅尾
大正十三年十一月廿一日第三種郵便物認可